

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

◎ 展開する事業群(1-1-1)

基本目標	1	子どもを育てる喜びが実感できる環境づくり
施策目標	(1)	母と子の健康づくり支援
基本施策分野	①	母子の健やかな心と身体の子育て支援

★ 新規事業(5) ☆ 拡充事業(26) * 計画にない新規H22(2)・H23(2)・H25(4)・H26(2)

H27年度子ども・子育て支援事業計画での確保方策事業

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	25年度実績	26年度実績
* 妊婦・周産期の母子保健事業の推進	○母子健康手帳の交付	子育て支援	H22~26	妊娠届 635 (11週以内の届け出 550 86.6%) 転入51 母子手帳590(双胎・再交付)	妊娠届 607 転入107 母子手帳580(双胎・再交付)
	○妊婦健康診査費助成事業	子育て支援		基本健診14回分、諸検査の費用を助成 助成総額:45,204,940円	基本健診14回分、諸検査の費用を助成 助成総額:46,656,498円
	○妊婦歯科健康診査費助成事業	子育て支援		181件 助成総額 738,480円 (28.3%)	180件 助成総額 734,400円 (29.6%)
	○不妊治療費助成事業 (健康保険適用分、特定不妊治療) (再掲2-(1)-⑦)	子育て支援	H26	不妊治療保険適応分(市助成分) のべ 205人 特定不妊治療(京都府助成分) のべ 49人	不妊治療保険適応分(市助成分) のべ 202人 特定不妊治療(京都府助成分) のべ 45人
	○不妊治療費助成事業 (男性不妊治療、不育症) (再掲2-(1)-⑦)	子育て支援		—	男性不妊治療:0名 不育症:0名
	○パパママセミナー (再掲1-(1)-③、1-(2)-①、1-(3)-③)	子育て支援	H22~26	実人数 妊婦64人 夫41人 のべ人数:妊婦125人 夫49人 妊娠届数635人(初産妊婦283人) 参加率:10.1%(40.6%)	実人数 妊婦74人 夫40人 のべ人数:妊婦146人 夫55人 妊娠届数607人(初産妊婦269人) 参加率:12.2%(46.8%)
	○産後ホームヘルパー派遣事業	子育て支援		実人数 5人 のべ派遣時間 135.5時間	実人数 8人 のべ派遣時間 121.5時間
乳幼児期の健康診査事業の推進	○3か月児健康診査 (再掲2-(3)-②)	子育て支援	H22~26	年24回 対象児:580人 受診者:565人 受診率:97.4%	年24回 対象児:570人 受診者:566人 受診率:99.3%
	○1歳6か月児健康診査 (再掲2-(3)-②)	子育て支援		年12回 対象児:659人 受診者:619人 受診率:93.9%	年12回 対象児:657人 受診者:604人 受診率:91.9%
	○3歳6か月児健康診査 (再掲2-(3)-②)	子育て支援		年12回 対象児:654人 受診者:574人 受診率:87.8%	年12回 対象児:711人 受診者:619人 受診率:87.1%
乳幼児期の相談事業の推進	○10か月児発達相談 (再掲1-(2)-①、2-(1)-②、2-(3)-②)	子育て支援	H22~26	年12回 対象児:601 受診者:569 受診率:94.7%	年12回 対象児:573人 受診者:546人 受診率:95.3%
	○2歳児発達相談 (再掲1-(2)-①、2-(1)-②、2-(3)-②)	子育て支援		年12回 対象児:681人 受診者:591人 受診率:86.8%	年12回 対象児:649人 受診者:557人 受診率:85.8%
	○乳幼児相談・赤ちゃんサロン (再掲1-(2)-①、2-(1)-②、2-(3)-②)	子育て支援		年12回 乳幼児 1,024人 妊婦0人	年12回 乳幼児 1,053人 妊婦0人
	○発達相談指導員による発達相談 (再掲1-(2)-①、2-(1)-②、2-(2)-②、2-(3)-②)	子育て支援		実132人(のべ168人)幼稚園1園 保育所2園 療育教室1回 巡回発達相談の実施 年14回 年中児発達サポート事業 公立3保育所 104人実施	実142(のべ167人)幼稚園1園 巡回発達相談の実施 年14回 年中児発達サポート事業 公立3保育所 110人実施
	○転入時アンケート (再掲1-(2)-①、2-(1)-②、2-(3)-②)	子育て支援		転入者342人中 315人回収(92.1%)	転入者304人中287人回収(94.4%)

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

*	乳幼児期の訪問指導の推進	○妊産婦訪問	子育て支援	H22～26	妊婦8人(のべ8人) 産婦543人(のべ554人)	妊婦13人(のべ15人) 産婦5467人(のべ588人)
		○こんにちは赤ちゃん事業(乳児家庭全戸訪問事業) (再掲2-(3)-③)	子育て支援		対象児:565人 受診者:520人(里帰り含む) 受診率:92.1%	対象児:558人 受診者:526人(里帰り含む) 受診率:94.3%
		○耳の聞こえチェックリストの配布 (再掲2-(3)-③)	子育て支援	H26	—	チェックリストからの相談:0件
		○養育支援訪問事業 (再掲2-(3)-③)	子育て支援	H22～26	95件(実訪問件数)	85件(実訪問件数)
		○乳幼児訪問	子育て支援		乳児524人(のべ541人) 幼児42人(のべ127人) 新生児 4人 (のべ4人) 未熟児13人(のべ17人) *未熟児訪問事業開始	乳幼児526人(のべ558人) 新生児 3人 (のべ3人) 未熟児35人(のべ35人)
	○障がいのある児童の訪問 (再掲2-(2)-②)	子育て支援		24件(のべ31回)	2件(のべ3回)	
*	感染症予防対策の充実	○予防接種事業 *H22新規 ヒブ・肺炎球菌 *H26新規 水痘	子育て支援	H22～26	・予防接種法に基づいた各種予防接種事業を実施した。 不活化ポリオ延べ接種回数1,113回・四種混合延べ接種回数1816回・三種混合延べ接種回数765回(平成24年9月から不活化ポリオ、11月から四種混合に移行したため、接種率は出ない)・二種混合64.5%・日本脳炎接種率 113.1%・MR(麻しん・風しん混合) 1期 92.2%、2期 92.6%(3期、4期は特例措置終了)・BCG接種数477回(4月から対象月齢が変更したため、接種率は出ない)・ヒブ延べ接種回数2,549回・小児肺炎球菌延べ接種回数2,408回	・予防接種法に基づいた各種予防接種事業を実施した。 不活化ポリオ延べ接種回数443回・四種混合延べ接種回数2,262回・三種混合延べ接種回数171回(平成24年9月から不活化ポリオ、11月から四種混合に移行したため、接種率は出ない)・二種混合62.5%・日本脳炎接種率94%・MR(麻しん・風しん混合)接種率 1期 94.6%、2期 88.6%・BCG接種率96.8%・ヒブ延べ接種回数2,347回・小児肺炎球菌延べ接種回数2,342回・水痘1,326回
		○感染症に係る危機管理	安心まちづくり室		危機管理体制を備えているが、大規模災害と同様の新型インフルエンザなどの感染症が地域的に流行していないため会議等は実施していない。	危機管理体制を備えているが、大規模災害と同様の新型インフルエンザなどの感染症が地域的に流行していないため会議等は実施していない。
		○感染症に係る情報提供	健康推進		・HIV検査週間、エイズ月間に啓発ポスターを庁舎及び電子掲示板に掲示、また広報・ホームページにも掲載。また、パンフレットを成人式で配付。 ・ハンセン病に係るリーフレットを窓口に設置。	・HIV検査週間、エイズ月間に啓発ポスターを庁舎及び電子掲示板に掲示、また広報・ホームページにも掲載。また、パンフレットを成人式で配付。 ・ハンセン病に係るリーフレットを窓口に設置。
		○感染症予防事業 (肝炎ウイルス予防検診、結核住民検診)	健康推進		・検診の情報を各戸配布・市のホームページ・広報に掲載した。精密検査対象者には、受診勧奨を行い、経過を記録した。 ・肝炎ウイルス検診については40歳・45歳・50歳・55歳・60歳に受診票を送付し受診機会の提供を行った。	・検診の情報を各戸配布・市のホームページ・広報に掲載した。精密検査対象者には、受診勧奨を行い、経過を記録した。 ・肝炎ウイルス検診については40歳・45歳・50歳・55歳・60歳に受診票を送付し受診機会の提供を行った。

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

★1	京田辺市健康増進計画の策定及び実施(★)	○京田辺市健康増進計画の策定及び実施(★)	健康推進	H22~26	京田辺市健康増進計画・食育推進計画に係る重点プロジェクト毎に行動計画を立て、既存事業に加え、新規事業を実施した。 ○栄養・食生活 広報掲載「いきいきレシピ」2か月に1回(6回) 調理実習講師派遣(小学校5校) 食育月間(1月)(ホームページ掲載・啓発コーナー庁舎内設置) 「食育の日」周知(保育所7か所・幼稚園1か所) まるときょうとの日(小学校9校) ○こころ ホームページ掲載 1回 こころの健康づくり月間(9月)(啓発コーナー庁舎内設置) ○たばこ 禁煙教室 1回 参加者29名 妊娠届時喫煙者の把握・禁煙指導 5名 禁煙・受動喫煙防止啓発(ホームページ掲載) 協議会2回開催 ワーキング部会2回開催	京田辺市健康増進計画・食育推進計画に係る重点プロジェクト毎に行動計画を立て、既存事業に加え、新規事業を実施した。 ○栄養・食生活 広報掲載「いきいきレシピ」2か月に1回(6回) 調理実習講師派遣(小学校8校) 食育月間(6月) (ホームページ掲載・啓発コーナーを市内3ヶ所に設置) (北部住民センター、中部住民センター、宝生苑に設置) 「食育の日」周知(保育所7か所・幼稚園4か所) まるときょうとの日(小学校9校) ○こころ ホームページ掲載 1回 こころの健康づくり月間(9月)(啓発コーナー庁舎内設置) ○たばこ 禁煙教室 1回 参加者24名 妊娠届時喫煙者の把握・禁煙指導 5名 禁煙・受動喫煙防止啓発(ホームページ掲載) 協議会2回開催 ワーキング部会2回開催
	絵本にふれる機会の充実	○おはなし会 (おはなしや絵本の読み聞かせ等の体験を通じて本に親しむ) (再掲2-(1)-⑤)	社会教育・スポーツ推進	H22~26	中央図書館 69回 1,124人 北部分室 61回 708人 中部分室 28回 257人	中央図書館 67回 1,109人 北部分室 59回 644人 中部分室 28回 198人
		○ふれあい絵本スタート事業	子育て支援		こんにちは赤ちゃん事業にて、絵本の配布515冊	こんにちは赤ちゃん事業にて、絵本の配布558冊
	リフレッシュのための事業促進	○一時保育事業 (再掲1-(3)-①、1-(3)-②) ○ファミリー・サポート・センター事業 (再掲1-(3)-①)	子育て支援	H22~26	キャンセル待ちは生じたが年間2,923人が利用した。 【活動件数】2,742件【会員数】依頼(おねがい)会員 317人、提供(まかせて)会員 102人、両方(どっちも)会員35人。合計454人 広報紙等で随時募っている。目標: 会員数300人(依頼、援助 共) 目標達成	キャンセル待ちは生じたが年間2,074人が利用した。 【活動件数】3,197件【会員数】依頼(おねがい)会員 326人、提供(まかせて)会員 107人、両方(どっちも)会員33人。合計466人 広報紙等で随時募っている。目標: 会員数300人(依頼、援助 共) 目標達成
	健康情報システムの充実	○「健康手帳」の配布	子育て支援	H22~26	933冊	1,052冊
		○母子健康管理システム	子育て支援		健康管理システムの保守契約を継続	健康管理システムの保守契約を継続
☆1	子どもの事故防止、救急対応等の教育及び情報誌の作成(☆)	○子どもの事故防止、救急対応等の教育及び情報誌の作成(☆) (再掲1-(2)-②、3-(2)-③)	子育て支援	H22~26	10か月発達相談時、事故予防パンフレットを配布。569人 1歳6か月健診時、パンフレットを配布。619人	10か月発達相談時、事故予防パンフレットを配布。546人 1歳6か月健診時、パンフレットを配布。604人
		○市民への応急手当の普及 (再掲1-(2)-②)	消防署		・普通救命講習会 66回 1,319名 ・上級救命講習会 3回 21名 ・救急指導 26回 1,075名	・普通救命講習会 59回 1,017名 ・上級救命講習会 6回 28名 ・救急指導 24回 1,326名

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

◎ 展開する事業群(1-1-2)

基本目標	1	子どもを育てる喜びが実感できる環境づくり
施策目標	(1)	母と子の健康づくり支援
基本施策分野	②	保育所、幼稚園、小・中学校における健やかな身体の育成支援

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	25年度実績	26年度実績
保育所における児童の健康づくり	○保育所における健康診査等の実施 ・内科・歯科健康診査 ・尿・ぎょう虫検査 ・視力測定	子育て支援	H22～26	内科・歯科健康診査を、各所とも年間2回実施 尿・ぎょう虫検査、各所とも年間1回実施 視力測定は、河原・草内・三山木各保育所で年間2回実施	内科・歯科健康診査を、各所とも年間2回実施 尿・ぎょう虫検査、各所とも年間1回実施 視力測定は、河原・草内・三山木・松井ヶ丘・みみづく・大住保育所(園)で年間2回実施
	○食中毒等の予防(職員の検便)	子育て支援		全保育士に対して年12回の検便を実施	全保育士及び調理師に対して年12回の検便を実施
	○歯みがき教室等の保健指導 ・歯科衛生士による歯みがき教室 ・保育所職員に対する保健研修	子育て支援		歯科衛生士による歯みがき教室は、3園で3回開催 手洗い教室を全7保育所(園)で実施 保育所職員に対する保健研修、4回開催 延べ179名参加	歯科衛生士による歯みがき教室は、3園で3回開催 手洗い教室を河原・草内・三山木・松井ヶ丘・みみづく・大住保育所(園)で実施 保育所職員に対する保健研修、4回開催 延べ214名参加
小・中学校における児童・生徒の健康づくり	○児童の健康教育実施等に係る相談・支援等 (再掲1-(1)-④)	学校教育	H22～26	エイズに関する指導を含む性教育及び喫煙・薬物乱用の防止等の授業を実施	エイズに関する指導を含む性教育及び喫煙・薬物乱用の防止等の授業を実施。
	○「未来君」の食生活支援事業(6年生に調理実習) (再掲1-(1)-④)	健康推進 学校環境整備		・小学校での活動14回(398人) うち未来君 三山木小学校 6年 66人(2クラス) 田辺東小学校 6年 47人(2クラス)	・小学校での活動36回(1031人) うち未来君 三山木小学校 6年 72人(3クラス) 田辺東小学校 6年 59人(2クラス) 薪小学校 6年 91人(3クラス) 田辺小学校 6年 122人(4クラス) 草内小学校 6年 67人(2クラス) 普賢寺小学校 6年 17人(1クラス)
	○小・中学校健康管理事業(定期健康診断の実施) (再掲1-(1)-④)	学校環境整備		定期健康診断(内科、歯科、眼科、耳鼻科、結核、心臓検診及び尿・ぎょう虫卵検査)を1回実施。	定期健康診断(内科、歯科、眼科、耳鼻科、結核、心臓検診及び尿・ぎょう虫卵検査)を1回実施。
	○健康教育 ・エイズに関する指導を含む性教育 ・喫煙、薬物乱用の防止等、健康に関する課題への対応 (再掲1-(1)-④)	学校教育		エイズに関する指導を含む性教育及び喫煙・薬物乱用の防止等の授業を実施	エイズに関する指導を含む性教育及び喫煙・薬物乱用の防止等の授業を実施。

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

*	○中学校昼食提供事業	学校環境整備	H25	平成25年度3学期より、中学校でデリバリー式注文弁当を選択できるようになった。	中学校におけるデリバリー式選択注文弁当の提供
幼稚園における児童の健康づくり	○市立幼稚園健康管理事業 ・定期健康診断の実施 ・歯みがき指導	学校環境整備	H22～26	定期健康診断(内科、歯科、眼科、耳鼻科、結核、心臓検診及び尿・ぎょう虫卵検査)を1回実施。	定期健康診断(内科、歯科、眼科、耳鼻科、結核、心臓検診及び尿・ぎょう虫卵検査)を1回実施。
	○私立幼稚園健康診断事業への補助 (市内私立幼稚園への補助)	学校教育		市内2園の私立幼稚園に対して、内科検診及び歯科検診を実施した補助として1名1種につき1,000円の補助を行った。	市内2園の私立幼稚園に対して、内科検診及び歯科検診を実施した補助として1名1種につき1,000円の補助を行った。

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

◎ 展開する事業群(1-1-3)

基本目標	1	子どもを育てる喜びが実感できる環境づくり
施策目標	(1)	母と子の健康づくり支援
基本施策分野	③	食育の推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	25年度実績	26年度実績
母子保健事業における食育事業	○パパママセミナー(栄養・調理編) (再掲1-(1)-①、1-(2)-①、1-(3)-③)	子育て支援	H22~26	栄養調理編のみ実人数 妊婦23人 夫1人	栄養調理編のみ実人数 妊婦25人 夫4人
	○離乳食教室(前期・後期)	子育て支援		前期年24回 565人 後期年12回 569人	前期年24回 566人 後期年12回 546人
	○幼児食の指導相談	子育て支援		年12回 1歳6ヶ月健診で619人	年12回 1歳6ヶ月健診で604人
児童館における食育事業(☆)	○伝統食等の調理実習(☆)	子育て支援	H22~26	「よもぎだんごづくり」(6月1日開催:大住児童館)小学生20名 「第1回手作りおやつ」(7月26日開催:大住児童館)小学生19名 「第2回手作りおやつ」(8月21日開催:大住児童館)小学生20名 「冬の手作りおやつ」(2月1日開催:大住児童館)小学生20名 「春休み手作りおやつ」(3月25日開催:大住児童館)小学生20名 「こども料理教室」(7月26日、12月7日開催:南山こどもセンター)小学生28名	家族の日週間 親子で三色団子をつくろう(11月22日開催:大住児童館)小学生11名
☆ 2 ☆ 3 保育所、幼稚園、学校における食育事業(☆)	○保育所給食等における食育の指導(☆)	子育て支援	H22~26	各所とも行事食の実施、展示食の実施を行った 各所の給食において、地産地消の拡大を行った 給食だよりを年間12回発行	各所とも行事食の実施、展示食の実施を行った 各所の給食において、地産地消の拡大を行った 給食だよりを年間12回発行
	○幼稚園、学校等における食育の指導	学校環境整備		・給食において、行事食やまるごときょうとの日を実施することで、地産地消の推進を行った。 ・市立小学校で「しょくいくだより」「こんだてだより」を発行し、食育の指導に努めた。(しょくいくだより:年11回発行、こんだてだより:年9回発行)	・給食において、行事食やまるごときょうとの日を実施することで、地産地消の推進を行った。 ・市立小学校で「しょくいくだより」「こんだてだより」を発行し、食育の指導に努めた。(しょくいくだより:年11回発行、こんだてだより:年9回発行) ・食に関する指導計画に基づく教科書横断的な指導を実施した。 ・まるごときょうとの日推進事業の実施。
		学校教育		・食に関する指導計画に基づく教科書横断的な指導を実施した。 ・まるごときょうとの日推進事業の実施	・食に関する指導計画に基づく教科横断的な指導を実施した。
○食農体験	農政	普賢寺地域における収穫イベント(トウモロコシ、枝豆)を実施した。市内小学校でお茶の淹れ方教室を実施した。	普賢寺地域における収穫イベント(トウモロコシ、枝豆)を実施した。市内中学校でお茶の淹れ方教室を実施した。		

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

○学校給食等における地元産野菜の導入	農政	学校給食における地産地消として、京田辺産の米、たけのこ、大根、えびいも、タマネギ、ジャガイモ、黒豆、えんどう豆、なす、里芋、小松菜、白菜、天王の味噌、一休寺納豆、白味噌、茶葉を使用し、特産物の使用を推進。	学校給食における地産地消として、京田辺産の米、たけのこ、大根、えびいも、タマネギ、ジャガイモ、黒豆、えんどう豆、なす、里芋、キュウリ、青ネギ、金時にんじん、水菜、正月大根、白菜、天王の味噌、一休寺納豆、白味噌、茶葉を使用し、特産物の使用を推進。
--------------------	----	--	--

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

★2

健康づくり事業における食育事業(★)	○食育推進計画の策定及び実施(★)	健康推進	H22～26	京田辺市健康増進計画・食育推進計画に係る重点プロジェクト毎に行動計画を立て、既存事業に加え、新規事業を実施した。 ○栄養・食生活 広報掲載「いきいきレシピ」2か月に1回(6回) 調理実習講師派遣(小学校5校) 食育月間(1月)(ホームページ掲載・啓発コーナー庁舎内設置) 「食育の日」周知(保育所7か所・幼稚園1か所) まるごときょうとの日(小学校9校) 協議会2回開催 ワーキング部会2回開催	京田辺市健康増進計画・食育推進計画に係る重点プロジェクト毎に行動計画を立て、既存事業に加え、新規事業を実施した。 ○栄養・食生活 広報掲載「いきいきレシピ」2か月に1回(6回) 調理実習講師派遣(小学校8校) 食育月間(6月) (ホームページ掲載・啓発コーナーを市内3ヶ所に設置) (北部住民センター、中部住民センター、宝生苑に設置) 「食育の日」周知(保育所7か所・幼稚園4か所) まるごときょうとの日(小学校9校) 協議会2回開催 ワーキング部会2回開催
	○疾病予防及び健康増進のための食育事業 ・プランニング・ユア・ライフ	健康推進		教室回数:6回 参加実人数:122人	教室回数:2回 参加実人数:40人
	○食生活改善推進員による食生活改善普及活動	健康推進		普及活動91回(延べ4,317人)	普及活動107回(延べ4,257人)
地域における食育事業	○地域における食育事業 ・公民館等における調理実習	社会教育・スポーツ推進	H22～26	料理教室(中央公民館事業)全5回 延べ68人 手作りパン教室(北部住民センター事業)全5回 延べ112人 そば打ち教室(北部住民センター事業)全5回 延べ32人 ケーキづくり教室(中部住民センター事業)前期・後期全10回 延べ141人 洋食ランチ料理教室(中部住民センター事業)前期・後期全6回 延べ89人 和風スイーツ教室(中部住民センター事業)前期・後期全10回 延べ139人 おもてなしグローバル料理教室(中部住民センター事業)前期・後期全6回 延べ90人	料理教室(中央公民館事業)全5回 延べ87人 手作りパン教室(北部住民センター事業)全5回 延べ109人 そば打ち教室(北部住民センター事業)全5回 延べ46人 名人が教える男の料理教室(北部住民センター事業)全5回 延べ71人 ケーキづくり教室(中部住民センター事業)前期・後期全10回 延べ137人 洋食ランチ料理教室(中部住民センター事業)前期・後期全6回 延べ88人 おもてなしグローバル料理教室(中部住民センター事業)前期・後期全6回 延べ86人 和風スイーツ教室(中部住民センター事業)前期・後期全10回 延べ150人 和食の基本教室(中部住民センター事業)1回 14人

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

◎ 展開する事業群(1-1-4)

基本目標	1	子どもを育てる喜びが実感できる環境づくり
施策目標	(1)	母と子の健康づくり支援
基本施策分野	④	思春期からの健康づくり支援

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	25年度実績	26年度実績
思春期～青年期の健康づくりの支援	○性に関する啓発事業(エイズパンフレット配布)	健康推進	H22～26	エイズに関する予防啓発パンフレットを成人式で配付及びホームページ掲載 同志社大学において啓発事業実施	エイズに関する予防啓発パンフレットを成人式で配付及びホームページ掲載 同志社大学において啓発事業実施
	○思春期保健学習会(保育所、幼稚園、小・中学校及び母子保健担当係とのネットワーク構築)	子育て支援		未実施(人権教教育保健部会がその役割を果たしている)	未実施(人権教教育保健部会がその役割を果たしている)
	○子宮頸がん予防ワクチン接種費用助成事業 * H22新規	学校教育		H25.4.1から定期接種となったが、6月14日付で厚生労働省から通知があり、積極的勧奨の中止となった。 延べ接種回数:201回	H25.4.1から定期接種となったが、6月14日付で厚生労働省から通知があり、積極的勧奨の中止となった。 延べ接種回数:3回
小・中学校における児童・生徒の健康づくり	○児童の健康教育実施等に係る相談・支援等(再掲1-(1)-②)	学校教育	H22～26	エイズに関する指導を含む性教育及び喫煙・薬物乱用の防止等の授業を実施	エイズに関する指導を含む性教育及び喫煙・薬物乱用の防止等の授業を実施。
	○「未来君」の食生活支援事業(6年生に調理実習)(再掲1-(1)-②)	健康推進 学校環境整備		・小学校での活動14回(398人) うち未来君 三山木小学校 6年 66人(2クラス) 田辺東小学校 6年 47人(2クラス)	・小学校での活動36回(1031人) うち未来君 三山木小学校 6年 72人(3クラス) 田辺東小学校 6年 59人(2クラス) 薪小学校 6年 91人(3クラス) 田辺小学校 6年 122人(4クラス) 草内小学校 6年 67人(2クラス) 普賢寺小学校 6年 17人(1クラス)
	○小・中学校健康管理事業(定期健康診断の実施)(再掲1-(1)-②)	学校環境整備		定期健康診断(内科、歯科、眼科、耳鼻科、結核、心臓検診及び尿・ぎょう虫卵検査)を1回実施。	定期健康診断(内科、歯科、眼科、耳鼻科、結核、心臓検診及び尿・ぎょう虫卵検査)を1回実施。
	○健康教育(再掲1-(1)-②)	学校教育		エイズに関する指導を含む性教育及び喫煙・薬物乱用の防止等の授業を実施	エイズに関する指導を含む性教育及び喫煙・薬物乱用の防止等の授業を実施。
子育てセミナー	○子育てセミナー(再掲1-(2)-①、1-(3)-③、2-(1)-①、3-(1)-①)	社会教育・スポーツ推進	H22～26	家庭教育子育てセミナー(中央市民大学公開講座)9月13日参加者20人 地域子育てセミナー(8小学校)8事業 参加者451人	地域子育てセミナー(全9小学校)9事業 参加者796人

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

◎ 展開する事業群(1-1-5)

基本目標	1	子どもを育てる喜びが実感できる環境づくり
施策目標	(1)	母と子の健康づくり支援
基本施策分野	⑤	医療体制等の充実

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	25年度実績	26年度実績
子育て支援医療費の助成(☆)	○子どもの医療費の助成(☆) (再掲2-(1)-⑦)	子育て支援	H22~26	入院:665件 27,512千円 入院外:108,913件 185,893千円	入院:572件 25,706千円 入院外:116,793件 207,334千円
☆4 小児慢性特定疾患日常生活用具の給付	○小児慢性特定疾患日常生活用具の給付	子育て支援	H22~26	0件	1件
医療体制の整備・充実のための働きかけ	○小児救急電話相談「#8000」	子育て支援	H22~26	子育てマップ等による市民への周知 HP・広報誌に掲載	子育てマップ等による市民への周知 HP・広報誌に掲載
	○小児救急医療体制	子育て支援		子育てマップ等による市民への周知 HP・広報誌に掲載	子育てマップ等による市民への周知 HP・広報誌に掲載
	○休日応急診療所事業 (京田辺市・八幡市)	健康推進	H22~26	・年間70日開設、受診者数721人(1日平均10.3人) ・病院群輪番制の利用無し、八幡市休日応急診療所の利用34人。 ・府事業として、小児救急電話相談事業、小児救急医療体制(管内では宇治徳州会病院・田辺中央病院)で輪番体制がとられ、その周知をはかった。 ・府の京都健康医療よろづネットの活用をした。	・年間70日開設、受診者数 935 人(1日平均 13.4 人) ・病院群輪番制の利用無し、八幡市休日応急診療所の利用 23 人。 ・府事業として、小児救急電話相談事業、小児救急医療体制(管内では宇治徳州会病院・田辺中央病院)で輪番体制がとられ、その周知をはかった。
関係機関との連携強化	○関係機関との連携強化 (京都府保健医療計画における医療体制等の充実要請等)	健康推進	H22~26	見直し後の平成20年度から京都府保健医療計画が実施され、地域の保健医療を支える基盤整備、患者本位の安心・安全な医療体制の確立、および主な死因に着目した切れ目ない保健医療サービスの提供が計画の重点施策となっている。計画におけるに市町村の役割について協力するとともに、計画の充実について要望した。	見直し後の平成20年度から京都府保健医療計画が実施され、地域の保健医療を支える基盤整備、患者本位の安心・安全な医療体制の確立、および主な死因に着目した切れ目ない保健医療サービスの提供が計画の重点施策となっている。計画におけるに市町村の役割について協力するとともに、計画の充実について要望した。
自立支援医療給付事業の推進	○自立支援医療給付事業の推進 (再掲2-(2)-②)	障害福祉	H22~26	自立支援医療(精神通院)受給者 39名	自立支援医療(精神通院)受給者 40名
母子家庭医療費助成事業	○母子家庭医療費助成事業 (再掲2-(2)-③)	国保医療	H22~26	平成25年度給付実績 12,963件 39,420千円 ※平成25年8月1日から、父子家庭も対象となりました。	平成26年度給付実績 14,564件 44,309千円
* 養育医療給付事業	○養育医療給付事業	子育て支援	H25	給付決定実人数 18人	給付決定実人数 18人
* 育成医療給付事業	○育成医療給付事業	障害福祉課	H25	給付決定実人数 15人	給付決定実人数 15人

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

◎ 展開する事業群(1-2-1)

基本目標	1	子どもを育てる喜びが実感できる環境づくり
施策目標	(2)	子育てに係る意識の啓発並びに情報提供の充実
基本施策分野	①	子育てに関する意識啓発の推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	25年度実績	26年度実績
男女共同参画に係る啓発	○各種広報、啓発、イベント、研修等の充実 (ふれあい夢フェスタなど) (再掲1-(3)-③)	市民参画	H22～26	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい夢フェスタ 参加者約340人 ・男女共同参画週間①フォーラム 講師:鎌倉女子大学教授・医学博士 木下博勝さん「家族 ～夫婦円満、子ども、健康～」参加者約140人②DVD「オフサイド・ガールズ」上映会&おしゃべり会 参加者7人③パネル展 ・男性の生活能力向上講座「カジダン講座(ちよいヤル編)」①めざせ!掃除の達人 参加者8人 ②はじめての“和食” 参加者9人 ・男女の活躍事例の収集・発信『個性キラ☆自分流』(4人紹介) ・男女共同参画推進員の募集・支援(平成26年3月31日現在推進員46人 研修会1回、情報提供6回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい夢フェスタ参加者 約400人 ・男女共同参画週間①フォーラム 講師:弁護士 住田裕子さん「一人ひとりが輝こう・・・私の個性もあなたの個性も」参加者約150人②子育て講座「パパと子の体遊び～カラダ&身近な物でふれあいタイム」参加者12人③DVD「人生、いろどり」上映会&おしゃべり会 参加者20人④パネル展 ・男性の生活能力向上講座「カジダン講座～できる男は家事もする～」①はじめてのお弁当づくり 参加者10人 ②めざせ!大掃除の達人 参加者13人 ・男女の活躍事例の収集・発信『個性キラ☆自分流』(4人紹介) ・男女共同参画推進員の募集・支援(平成27年3月31日現在推進員48人 研修会1回、情報提供6回)
	○学習機会の充実 (女性交流支援ルーム情報ライブラリーでの関連図書等の貸出しなど) (再掲1-(3)-③)	市民参画			
地域子育て井戸端会議	○市立幼稚園における地域子育て井戸端会議	社会教育・スポーツ推進	H22～26	市内4幼稚園2公民館 7事業 参加総数238人	市内9幼稚園10事業参加総数716人
広報広聴の充実	○子育てセミナーや研修会の市民への広報の充実 (学びの情報誌、チラシ等の活用と内容充実)	社会教育・スポーツ推進	H22～26	学びの情報誌やチラシ等の活用により事業のPR活動を行った。	学びの情報誌やチラシ等の活用により事業のPR活動を行った。
子育ての学習機会の充実	○子育てセミナー (再掲1-(1)-④、1-(3)-③、2-(1)-①、3-(1)-①)	社会教育・スポーツ推進	H22～26	家庭教育子育てセミナー(中央市民大学公開講座)9月13日参加者20人 地域子育てセミナー(8小学校)8事業 参加者451人	地域子育てセミナー(全9小学校)9事業 参加者総数796人
	○パパママセミナー (再掲1-(1)-①、1-(1)-③、1-(3)-③)	子育て支援		実人数 妊婦64人 夫41人 のべ人数:妊婦125人 夫49人 妊娠届数635人(初産妊婦283人) 参加率:10.1%(40.6%)	実人数 妊婦74人 夫40人 のべ人数:妊婦146人 夫55人 妊娠届数607人(初産妊婦269人) 参加率:12.2%(46.8%)
	○絵本の紹介(発達相談に合わせて実施)	子育て支援		未実施	適切な絵本を選べるよう簡単なリーフを健診時に配布して絵本を手にとってもらった。

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

将来における少子化や子育てに係る関心の喚起	○啓発活動の実施 ・広報紙への記事掲載 ・パンフレットの配布	子育て支援	H22～26	てふてふだより1回/2か月・センターだより 1回/月 (センター及び児童館・市役所等での設置) 子育て支援事業、相談事業等を広報紙に掲載している(原則2回/月)	てふてふだより1回/2か月・センターだより 1回/月 (センター及び児童館・市役所等での設置) 子育て支援事業、相談事業等を広報紙に掲載している(原則2回/月)
	○「保育のつどい」の実施	子育て支援		第23回保育のつどいを10月25日に開催 参加者は2,000人	第24回保育のつどいを10月25日に開催 参加者は2,000人
児童虐待防止に係る啓発(☆)	○ホームページの充実 (再掲1-(2)-②、2-(3)-④)	子育て支援	H22～26	子どもの権利条約について掲載	子どもの権利条約について掲載
	○パンフレットの配付(☆) ・市民 ・子育て関係者 (再掲1-(2)-②、2-(3)-④)	子育て支援		「STOP!こども虐待」リーフレットを街頭啓発・産業祭・歯のひろば・民生児童委員活動にて配布 庁舎2,470枚 こどもSOSカードをリニューアル 学校入り口に設置 600枚、小学3年生～中学3年生に配布 4,530枚、子どもにかかわる関係機関に設置1,200枚、随時 児童虐待対応マニュアル配布 随時	「STOP!こども虐待」リーフレットを街頭啓発・産業祭・歯のひろば・民生児童委員活動にて配布 子育て相談案内カードデザイン募集、作成、配布(随時)設置(71か所) SOSカード学校入り口に設置、小学3年生に配布 745枚、随時 児童虐待対応マニュアル配布 随時
☆5 地域子育て支援拠点事業の推進(☆)	○地域子育て支援センター事業	子育て支援	H22～26	河原・大住子育て支援センターにおいて 園庭開放3,643人 親子あそび1,951人 すくすくサロン308人 サークル活動のサポート出前保育1176名	河原・大住子育て支援センターにおいて 園庭開放5,353人 すくすくサロン658人 サークル活動のサポート出前保育1077名
	○子育てひろば事業(☆)	子育て支援		子育てひろばてふてふ 利用者 9,904人(4～3月分)	子育てひろばてふてふ 利用者 10,865人(4～3月分)
☆6 相談事業の充実	○保育所における相談事業 (再掲2-(1)-②、2-(3)-②)	子育て支援	H22～26	年間860人から相談を受けた	年間793人から相談を受けた
	○児童館における相談事業 (再掲2-(1)-②、2-(1)-③、2-(3)-②)	子育て支援		保護者からの相談件数 124件 発達・しつけ・遊びなど子育て全般について相談を受ける。 日常の会話の中での相談についての件数は含んでいない。	保護者からの相談件数 88件 発達・しつけ・遊びなど子育て全般について相談を受ける。 日常の会話の中での相談についての件数は含んでいない。
	○地域子育て支援センター等での子育て相談事業 (再掲2-(1)-②、2-(3)-②)	子育て支援		支援センター等での子育て相談 電話65 来所305 事業内実施時323	支援センター等での子育て相談 電話60 来所7 事業内実施時431
	○家庭児童相談室での相談事業 (再掲2-(1)-②、2-(1)-③、2-(3)-②)	子育て支援		ケース対応件数 養護相談:児童虐待相談 139件 :親の疾患・家庭環境の養護相談 95件 保健・障がい・非行・育成等相談 28件 来庁面接相談回数:109回(延べ167人) 家庭訪問回数:107回(延べ169人) 電話相談回数:89回(延べ428人) メール相談回数:12回(延べ18人)	ケース対応件数 養護相談:児童虐待相談 154件 :親の疾患・家庭環境の養護相談 107件 保健・障がい・非行・育成等相談 28件 来庁面接相談回数:109回(延べ167人) 家庭訪問回数:107回(延べ169人) 電話相談回数:89回(延べ428人) メール相談回数:12回(延べ18人)

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

相談事業の充実	○10か月児発達相談 (再掲1-(1)-①、2-(1)-②、2-(3)-②)	子育て支援	H22～26	年12回 対象児:601 受診者:569 受診率:94.7%	年12回 対象児:573人 受診者:546人 受診率:95.3%
	○2歳児発達相談 (再掲1-(1)-①、2-(1)-②、2-(3)-②)	子育て支援		年12回 対象児:681人 受診者:591人 受診率:86.8%	年12回 対象児:649人 受診者:557人 受診率:85.8%
	○乳幼児相談・赤ちゃんサロン (再掲1-(1)-①、2-(1)-②、2-(3)-②)	子育て支援		年12回 乳幼児 1,024人 妊婦0人	年12回 乳幼児 1,053人 妊婦0人
	○発達相談指導員による発達相談 (再掲1-(1)-①、2-(1)-②、2-(2)-②、 2-(3)-②)	子育て支援		実132人(のべ168人)幼稚園1園 保育所2園 療育教室1回 巡回発達相談の実施 年14回 年中児発達サポート事業 公立3保育所 121人実施	実人142(のべ167人)幼稚園1園 巡回発達相談の実施 年14回 年中児発達サポート事業 公立3保育所 110人実施
	○転入時アンケート (再掲1-(1)-①、2-(1)-②、2-(3)-②)	子育て支援		転入者315人中 288人回収(91.4%)	転入者304人中287人回収(94.4%)
	○民生児童委員・主任児童委員による相談 (再掲2-(1)-②、2-(3)-②)	社会福祉	H22～26	地域の中で相談援助活動を行っている民生委員・児童委員に対して、円滑な活動が実施できるよう、研修等による支援を行った。	地域の中で相談援助活動を行っている民生委員・児童委員に対して、円滑な活動が実施できるよう、研修等による支援を行った。
	○幼稚園での子育て相談事業 (再掲2-(1)-②、2-(3)-②)	学校教育	H22～26	在園中の保護者に対しては、各幼稚園で随時行っている。 次年度入園予定児及びその保護者を対象に親子なかよし学級を開設し、その中で子育てに関する相談に応じている。	在園中の保護者に対しては、各幼稚園で随時行っている。 次年度入園予定児及びその保護者を対象に親子なかよし学級を開設し、その中で子育てに関する相談に応じている。
○小・中学校での教育相談 (再掲2-(1)-②、2-(1)-③、2-(3)-②)	学校教育	○教育相談 ・小学校(市事業) 実施回数98回(11回×8校+10回×1校)、相談件数327件 ・中学校(府事業) 相談件数 延べ90件、相談人数 延べ582人		○教育相談 ・小学校(市事業) 実施回数101回(11回×7校+12回×2校)、相談件数431件 相談人数(内訳) 保護者267人、児童104人、教師147人、その他11人、計529人 ・中学校(府事業) 相談件数 延べ102件、相談人数 延べ630人	

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

◎ 展開する事業群(1-2-2)

基本目標	1	子どもを育てる喜びが実感できる環境づくり
施策目標	(2)	子育てに係る意識の啓発並びに情報提供の充実
基本施策分野	②	子育てに関する情報提供の充実

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	25年度実績	26年度実績	
☆7 ☆8 ☆9 ☆1	子育てに係る情報提供体制・方法の充実(☆)	関係各課	H22～26	市民参画課:掲載回数19回	市民参画課:女性交流支援ルーム協催事業広報掲載回数 15回 22事業	
		子育て支援		子育て支援事業、相談事業等を掲載	子育て支援事業、相談事業等を掲載	
		子育て支援		てふてふだより1回/2か月・センターだより 1回/月 (センター及び児童館・市役所等での設置) 子育て支援事業、相談事業等を広報紙に掲載している(原則2回/月)	てふてふだより1回/2か月・センターだより 1回/月 (センター及び児童館・市役所等での設置) 子育て支援事業、相談事業等を広報紙に掲載している(原則2回/月)	
		子育て支援		子育てガイドブックの発行 ・子育てマップの発行 ・子育て外遊びマップの発行(☆)	同志社大学のルームプロジェクトにおいての企画で作成したマップデータを4000部印刷。	子育てマップの発行:3000部
		子育て支援		○外国語母子健康手帳の交付 (再掲2-(2)-④)	発行:英語3冊	発行:0冊
		子育て支援		○子どもの事故防止、救急対応等の教育及び情報誌の作成(☆) (再掲1-(1)-①、3-(2)-③)	10か月発達相談時、事故予防パンフレットを配布。569人 1歳6か月健診時、パンフレットを配布。619人	10か月発達相談時、事故予防パンフレットを配布。546人 1歳6か月健診時、パンフレットを配布。604人
		子育て支援		○児童虐待防止の広報・啓発 ・市民に対する広報・啓発(ホームページの充実) ・児童に係る関係者に対する啓発(子育て関係者にパンフレット等の配布(☆)) (再掲1-(2)-①、2-(3)-④)	「STOP!こども虐待」リーフレットを街頭啓発・産業祭・歯のひろば・民生児童委員活動にて配布 庁舎2,470枚 こどもSOSカードをリニューアル 学校入り口に設置 600枚、小学3年生～中学3年生に配布 4,530枚、子どもにかかわる関係機関に設置1,200枚、随時 児童虐待対応マニュアル配布 随時 関連事業HPに掲載 広報京たなベシリーズ連載(8・10・11・12月号)	「STOP!こども虐待」リーフレットを街頭啓発・産業祭・歯のひろば・民生児童委員活動にて配布 子育て相談案内カードデザイン募集、作成、配布(随時)設置(71か所) SOSカード学校入り口に設置、小学3年生に配布 745枚、随時 児童虐待対応マニュアル配布 随時
消防署	○市民への応急手当の普及 (再掲1-(1)-①)	<ul style="list-style-type: none"> ・普通救命講習会 66回 1,319名 ・上級救命講習会 3回 21名 ・救急指導 26回 1,075名 	<ul style="list-style-type: none"> ・普通救命講習会 59回 1,017名 ・上級救命講習会 6回 28名 ・救急指導 24回 1,326名 			

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

◎ 展開する事業群(1-2-3)

基本目標	1	子どもを育てる喜びが実感できる環境づくり
施策目標	(2)	子育てに係る意識の啓発並びに情報提供の充実
基本施策分野	③	次代の親育成の推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	25年度実績	26年度実績
育児体験の推進(☆)	○思春期育児体験教室 (中学生が乳幼児に触れ合う機会を持つ)	子育て支援	H22~26	てふてふで実施 7月23日 中学生1名参加 12月24日 中学生8名参加	てふてふで実施 7月22日 中学生6名参加 12月22日 中学生7名参加
	○保育所における子どもとのふれあい体験事業	子育て支援		草内・三山木・南山各保育所において年間72回開催した	草内・三山木・南山各保育所において年間72回開催した
	○児童館における子どもとのふれあい体験事業(☆)	子育て支援		(大住児童館) ・児童福祉週間:人形劇 5月25日 小学生13名・乳幼児親子143名 ・ダブルダッチャに挑戦しよう! 8月20日 小学生20名・乳幼児親子10名 ・家族の日 人形劇を家族で観よう! 11月2日 小学生 3名・乳幼児親子72名	(大住児童館) ・児童福祉週間:人形劇 5月17日 小学生11名・乳幼児親子83名 ・家族の日 親子で三色団子をつくろう 8月20日 小学生20名・乳幼児親子10名 ・家族の日 人形劇を家族で観よう! 11月22日 小学生10名・乳幼児親子93名
	○学生ボランティア支援事業	学校教育	同志社女子大学等の学生ボランティアによる保育の支援 4園に11名配置	同志社女子大学等の学生ボランティアによる保育の支援 7園に11名配置	
明日の親となるための子育て理解講座	○中学生を対象とした子育て理解講座	社会教育・スポーツ推進	H22~26	北部住民センター 2月21日 251人参加 培良中学校 12月9日 126人参加 社会福祉センター 3月10日 220人参加	全3中学校3事業 参加者総数451人

☆
10

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

◎ 展開する事業群(1-3-1)

基本目標	1	子どもを育てる喜びが実感できる環境づくり
施策目標	(3)	仕事と子育ての両立支援
基本施策分野	①	仕事と子育ての両立を図るための支援策の推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	25年度実績	26年度実績
★11 ファミリー・サポート・センター事業の推進(☆)	○ファミリー・サポート・センター事業の推進(☆) (市民の相互扶助活動の推進) (再掲1-(1)-①)	子育て支援	H22～26	【活動件数】2,742件【会員数】依頼(おねがい)会員317人、提供(まかせて)会員102人、両方(どっちも)会員35人。合計454人 広報紙等で随時募っている。目標:会員数300人(依頼、援助 共) 目標達成	【活動件数】3,197件【会員数】依頼(おねがい)会員326人、提供(まかせて)会員107人、両方(どっちも)会員33人。合計466人 広報紙等で随時募っている。目標:会員数300人(依頼、援助 共) 目標達成
一時保育事業の推進	○一時保育事業 (再掲1-(1)-①、1-(3)-②)	子育て支援	H22～26	キャンセル待ちは生じたが年間2,923人が利用した。	キャンセル待ちは生じたが年間2,074人が利用した。
★12 病児・病後児保育事業(☆)	○病児・病後児保育事業(☆) (再掲1-(3)-②)	子育て支援	H22～26	平成25年5月から病児保育事業を開始した。 病児保育607人、病後児保育28人の受け入れを行った。	病児保育920人、病後児保育25人の受け入れを行った。
★3 子育て短期支援事業(★)	○ショートステイ事業(★) (再掲2-(3)-⑤)	子育て支援	H22～26	平成25年4月からの実施 委託先(児童養護施設および乳児院「大和の家」、児童養護施設「桃山学園」)に委託契約 利用日数:19日	委託先(児童養護施設および乳児院「大和の家」、児童養護施設「桃山学園」)に委託契約 利用日数:7日
留守家庭児童会の充実	○留守家庭児童会 (再掲1-(3)-②)	社会教育・スポーツ推進	H22～26	ボランティア派遣事業を年75回実施。また、放課後子どもプランと留守家庭児童会が連携し事業実施できた。 希望者全員の受け入れが出来た。 夏休み期間受け入れ学年を5・6年生に拡大(大住・田辺東)	ボランティア派遣事業を年79回実施 放課後子どもプランと留守家庭児童会が連携し事業実施 入会児童の対象学年を小学校全学年に拡大

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

◎ 展開する事業群(1-3-2)

基本目標	1	子どもを育てる喜びが実感できる環境づくり
施策目標	(3)	仕事と子育ての両立支援
基本施策分野	②	多様で弾力的な保育サービスの充実

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	25年度実績	26年度実績
★ 12 各種保育サービスの充実(☆)	○通常保育事業	子育て支援	H22～26	年間13,417人 待機児童ゼロ(4月1日現在)	年間14,008人 待機児童ゼロ(4月1日現在)
	○延長保育事業	子育て支援		早朝延長保育は、1日あたり延べ、558人が利用した 夜間延長保育は、1日あたり延べ、749人が利用した 希望者全員の受け入れができた	早朝延長保育は、1日あたり延べ、642人が利用した 夜間延長保育は、1日あたり延べ、877人が利用した 希望者全員の受け入れができた
	○一時保育事業 (再掲1-(1)-①、1-(3)-①)	子育て支援		キャンセル待ちは生じたが年間2,923人が利用した。	キャンセル待ちは生じたが年間2,074人が利用した。
	○病児・病後児保育事業(☆) (再掲1-(3)-①)	子育て支援		平成25年5月から病児保育事業を開始した。 病児保育607人、病後児保育28人の受け入れを行った。	病児保育920人、病後児保育25人の受け入れを行った。
	○低年齢児保育(産休明け児童の保育)	子育て支援		年間8人	年間6人
	○民間保育所運営助成	子育て支援		3つの民間保育園に年間66,884,088円の運営補助金を交付	3つの民間保育園に年間73,592,083円の運営補助金を交付
★ 13 保育所の計画的施設整備(☆)	○公立保育所の整備(河原保育所)	子育て支援	H22～26	河原保育所分園開所に伴う田辺東幼稚園の改修工事に着手 三山木保育所移転用地買収を行い、建築工事に着手した。	三山木保育所移転新築事業完了
	○民間保育所の整備補助(☆)	子育て支援		みみづく保育園移転新築事業完了	—
★ 14 放課後児童対策の推進(☆)	○留守家庭児童会 (再掲1-(3)-①)	社会教育・スポーツ推進	H22～26	ボランティア派遣事業を年75回実施。また、放課後子どもプランと留守家庭児童会が連携し事業実施できた。 希望者全員の受け入れが出来た。 夏休み期間受け入れ学年を5・6年生に拡大(大住・田辺東)	ボランティア派遣事業を年79回実施 放課後子どもプランと留守家庭児童会が連携し事業実施 入会児童の対象学年を小学校全学年に拡大
	○放課後子どもプラン(☆) (再掲2-(1)-⑥)	社会教育・スポーツ推進		年間実施日数 83日 野外活動センターと市内全9小学校で実施 子どもの参加延べ人数3,687人	年間実施日数105日 野外活動センターと市内全9小学校で実施 子どもの参加延べ人数4,528人
幼稚園における保護者支援	○幼稚園における預り保育 ・市立全園で実施	学校教育	H22～26	8園で延べ853日、8,100人が利用した。 1日平均8.3人	8園で延べ1034日、15,785人が利用した。 1日平均16.2人

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

◎ 展開する事業群(1-3-3)

基本目標	1	子どもを育てる喜びが実感できる環境づくり
施策目標	(3)	仕事と子育ての両立支援
基本施策分野	③	男女共同子育ての推進

☆
15

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	25年度実績	26年度実績
第2次京田辺市男女共同参画計画の策定と事業の推進(☆)	○第2次京田辺市男女共同参画計画の策定と事業の推進(☆)	市民参画	H22~26	第2次京田辺市男女共同参画計画の事業の推進 計画掲載事業 138事業 うち平成25年度中に実施予定であった事業 137事業(残りの1事業は平成26年度以降に実施) 実施状況 実施 131事業(構成比95.6%) 未実施 4事業(構成比 2.9%) 廃止 2事業(構成比 1.5%)	第2次京田辺市男女共同参画計画の事業の推進 計画掲載事業(138事業)の実施状況 実施 132事業(構成比95.6%) 未実施 3事業(構成比2.2%) 廃止 3事業(構成比2.2%)
	○各種広報、啓発、イベント、研修等の充実(再掲1-(2)-①)	市民参画		<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい夢フェスタ 参加者約340人 ・男女共同参画週間①フォーラム 講師:鎌倉女子大学教授・医学博士 木下博勝さん「家族 ～夫婦円満、子ども、健康～」参加者約140人②DVD「オフサイド・ガールズ」上映会&おしゃべり会 参加者7人③パネル展 ・男性の生活能力向上講座「カジダン講座(ちょいヤル編)」①めがせ!掃除の達人 参加者8人 ②はじめての“和食” 参加者9人 ・男女の活躍事例の収集・発信『個性キラ☆自分流』(4人紹介) ・男女共同参画推進員の募集・支援(平成26年3月31日現在推進員46人 研修会1回、情報提供6回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい夢フェスタ参加者 約400人 ・男女共同参画週間①フォーラム 講師:弁護士 住田裕子さん「一人ひとりが輝こう・・・私の個性もあなたの個性も」参加者約150人②子育て講座「パパと子の体遊び～カラダ&身近な物でふれあいタイム」参加者12人③DVD「人生、いろいろ」上映会&おしゃべり会 参加者20人④パネル展 ・男性の生活能力向上講座「カジダン講座～デキる男は家事もする～」①はじめてのお弁当づくり 参加者10人 ②めがせ!大掃除の達人 参加者13人 ・男女の活躍事例の収集・発信『個性キラ☆自分流』(4人紹介) ・男女共同参画推進員の募集・支援(平成27年3月31日現在推進員48人 研修会1回、情報提供6回)
	○学習機会の充実(再掲1-(2)-①)	市民参画		<ul style="list-style-type: none"> ・女性交流支援ルーム情報ライブラリーでの図書等貸出人数延べ134人 	<ul style="list-style-type: none"> ・女性交流支援ルーム情報ライブラリーでの図書等貸出人数 延べ123人
	○市民リーダーの養成(京都府女性の船への参加補助、市民活動の支援)	市民参画		<ul style="list-style-type: none"> ・京都府女性の船参加者1名(市職員の参加者であったため、参加費補助はなし) 	<ul style="list-style-type: none"> ・京都府女性の船参加者 2人
	○女性の相談室(一般相談、専門相談、法律相談、女性の再就職・チャレンジ相談)(再掲2-(2)-③、2-(3)-②)	市民参画		<ul style="list-style-type: none"> ・専門相談 毎月第1・3木曜日 23回48件相談 ・出張相談 年5回、10件相談 ・一般相談 毎週月～金曜日 86件相談 ・法律相談 毎月第4水曜日12回 29件相談 ・再就職・チャレンジ相談及び母子家庭等自立支援相談 2回(10件相談) 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門相談 毎月第1・3木曜日 23回、49件相談 ・出張相談 年5回、3件相談 ・一般相談 毎週月～金曜日 105件相談 ・法律相談 毎月第4水曜日 12回、25件相談 ・再就職・チャレンジ相談及び母子家庭等自立支援相談 2回、12件相談
	○男性相談(再掲2-(2)-③、2-(3)-②)	市民参画		なし	なし

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

意識啓発の推進	○子育てセミナー ・父親の家庭教育の参加の集い (再掲1-(1)-④、1-(2)-①、2-(1)-①、 3-(1)-①)	社会教育・ス ポーツ推進	H22~26	家庭教育子育てセミナー(中央市民大学公開講座)9月13日参 加者20人 地域子育てセミナー(8小学校)8事業 参加者451人	地域子育てセミナー(全9小学校)9事業 参加者796人
	○パパママセミナー (再掲1-(1)-①、1-(1)-③、1-(2)-①)	子育て支援	H22~26	実人数 妊婦64人 夫41人 のべ人数:妊婦125人 夫49人 妊娠届数635人(初産妊婦283人) 参加率:10.1%(40.6%)	実人数 妊婦74人 夫40人 のべ人数:妊婦146人 夫55人 妊娠届数607人(初産妊婦269人) 参加率:12.2%(46.8%)

◎ 展開する事業群(1-3-4)

基本目標	1	子どもを育てる喜びが実感できる環境づくり
施策目標	(3)	仕事と子育ての両立支援
基本施策分野	④	事業所等への啓発等の推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	25年度実績	26年度実績
事業所への啓発	○事業所への啓発の推進① ・母性保護についての啓発 ・父親の子育て参加等	社会福祉	H22~26	関係機関からの啓発パンフレットを窓口に置き、啓発推進に努めた。	関係機関からの啓発パンフレットを窓口に置き、啓発推進に努めた。
	○事業所への啓発の推進② ・労働時間短縮等のリーフレット等による啓発	産業振興		商工会において、関係機関が発行したパンフレット等を窓口に置いて啓発に努めた。	商工会において、関係機関が発行したパンフレット等を窓口に置いて啓発に努めた。

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

◎ 展開する事業群(2-1-1)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(1)	心身を健やかに育む子育て環境の充実
基本施策分野	①	保育・教育環境の充実

★ 新規事業(5) ☆ 拡充事業(26) * 計画にない新規H22(2)・H23(2)・H26(

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	25年度実績	26年度実績
意見発表等の機会の充実	○「子どもの主張大会」の実施及び特集号の発行	学校教育	H22～26	H25年12月1日(日)田辺中央公民館で実施。作品応募総数967名。参加者数約250名	H26年12月7日(日)中央公民館で実施。作品応募総数1338名。参加者約250名
		社会教育・スポーツ推進			
		子育て支援			
★16 ★17 保育・教育内容や活動施設の充実(☆)	○保育内容の充実(保育所)	子育て支援	H22～26	公立保育所で保育・厨房備品を購入し、充実を図った	公立保育所で保育・厨房備品を購入し、充実を図った
	○家庭支援推進保育事業(☆)	子育て支援		公立4保育所に 各1名の保育士配置	公立4保育所に 各1名の保育士配置
	○保育所園庭の芝生化	子育て支援		河原・草内各保育所で、園庭の芝生化を進めた	河原・草内各保育所で、園庭の芝生化を進めた
	○保育所、幼稚園、小・中学校等施設の計画的な改善(☆)	子育て支援		田辺東幼稚園内に河原保育所分園を開設 三山木保育所移転用地買収を行い、建築工事に着手した。	三山木保育所移転新築事業の完了
		教育総務 学校環境整備		○小学校 全小学校(三山木小学校を除く)に空調設備を設置するための設計を行った。 小学校空調設備設置工事に着手した。 三山木小学校増築事業に伴う造成工事を施工した。 ○中学校 田辺中学校既設管理棟耐震補強工事、大規模改修工事を施工(最終年度)し完成させた。	○小学校 全小学校(三山木小学校を除く)に空調設備を設置した。 三山木小学校の新築西校舎棟・体育倉庫の建築工事に着工。
	○図書館活動の充実 ・図書の充実 ・点字図書作成 ・手作りの本講習会等 ・障がいのある人への対面朗読等(再掲2-(1)-⑤)	社会教育・スポーツ推進		図書資料の受入冊数 16,245冊 点字資料作成 36タイトル 子どもの本の講座 参加人数延べ84人 障害のある人へのサービス 宅配80回 郵送サービス3回 対面朗読 47回 児童書・絵本の読み聞かせ推奨のための「絵本の紹介コーナー」の設置	視覚障害者向け郵送サービスの開始
		社会教育・スポーツ推進		○子育てセミナー(再掲1-(1)-④、1-(2)-①、1-(3)-③、3-(1)-①)	家庭教育子育てセミナー(中央市民大学公開講座)9月13日参加者20人 地域子育てセミナー(8小学校)8事業 参加者451人
○特色ある園づくり(幼稚園)	学校教育	幼児が安定した情緒の下で自己を十分に発揮することができるよう発達に必要な体験を得るために「幼稚園キ・ラ・ラ体験事業」を各幼稚園で実施した。	幼児が安定した情緒の下で自己を十分に発揮することができるよう発達に必要な体験を得るために「幼稚園キ・ラ・ラ体験事業」を各幼稚園で実施した。		

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

学力の充実・向上と個性を生かす教育の推進	○特色ある学校づくり ・市研究指定校制度(学校改善) ・社会人講師の活用(地域人材の活用) ・総合的な学習の補助(消耗品の補助) (再掲3-(1)-⑤、3-(1)-⑥)	学校教育	H22～26	総合的な学習の時間等で地域の人材を活用した。 講師等謝金 小学校560千円、中学校303千円 同志社大学等の学生ボランティアによる学習支援を実施した。登録者26人	子ども・学校応援プロジェクト「教育実践モデル校」指定事業12校すべてをモデル校に指定し、研究を開始した。 同志社大学等の学生ボランティアによる学習支援を実施。登録者21人。 講師等謝金 中学校643千円、小学校339千円
	○進路指導の充実 ・職場体験学習	学校教育		各中学校2年生を対象に全員が体験学習を行った。	各中学校3年生を対象に全員が体験学習を行った。
国際化・情報化等の社会の変化に対応する教育の推進	○国際理解教育の充実 ・AETの活用(外国人による英語授業)	学校教育	H22～26	中学校にAET(英語指導助手)3名を配置し、英語授業の補助、英語クラブ、課外活動への補助などを行うとともに、小学校(1年生～4年生)及び幼稚園にも派遣し、英語活動を行った。 また、小学校(5・6年生)にAET1名を配置し、外国語活動を行った。	中学校にAET(英語指導助手)3名を配置し、英語授業の補助、英語クラブ、課外活動への補助などを行うとともに、小学校(1年生～4年生)及び幼稚園にも派遣し、英語活動を行った。 また、小学校(5・6年生)にAET2名を配置し、外国語活動を行った。
	○情報教育の充実① ・コンピュータ等の機器の充実	学校教育		小・中学校では、コンピュータ室を整備し、合わせて約400台を設置している。また、平成22年の国のICT環境整備事業により、89台の大型テレビを幼小中に導入し、平成23年度の市の予算で小・中学校に合わせて57台の大型テレビを導入した。また、平成22、23年度の市の予算で小中学校にデジタル教科書を整備し、大型テレビやコンピュータ等のICT教材を活用した授業を行い、平成24年度は小・中学校全普通教室に配備できるよう大型テレビを追加導入し、児童生徒の学力向上に寄与している。 さらに、校務用パソコンを教職員に100%貸与して、校務の情報化を進め、円滑に事務処理を行っている。	小・中学校の全普通教室に大型モニターを設置すると共に、指導者用デジタル教科書を導入し各授業で活用している。又、小学校には5台中学校には2台の実物提示装置を配備すると共に、年度末には55台の電子黒板を導入、児童生徒の学習意欲の向上と基礎学力の向上に取り組んでいる。 さらに、校務用パソコンを教職員に100%貸与すると共に校務支援システムを共同開発し、校務の情報化、平準化を進め、円滑に事務処理を行っている。
	○情報教育の充実② ・情報モラルやマナーの育成 ・情報通信ネットワークやコンピュータなどを積極的に活用する能力、態度の育成	学校教育		情報教育コーディネータの派遣により、貸与パソコンをはじめとするICT機器を常時快適に使うことができている。また、教職員の活用の増加に伴い、ソフトの使用法の相談も増えている。 夏期講座の開催や校内研修への講師派遣により、教職員のモラルやセキュリティ意識も向上し、児童生徒への指導にも役立っている。	ICT支援員(各校5回)・情報教育コーディネータ(2週で3回程度)の派遣により、貸与パソコンだけでなく他のICT機器の授業への活用等増加している。また、校務支援システムの導入により校務事務の平準化、効率化が図られている。 夏期講座の開催や校内研修への講師派遣により、教職員のモラルやセキュリティ意識も向上し、児童生徒への指導にも役立っている。

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

◎ 展開する事業群(2-1-2)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(1)	心身を健やかに育む子育て環境の充実
基本施策分野	②	子育てに関する相談体制の充実

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	25年度実績	26年度実績
民生児童委員・主任児童委員への活動支援	○京田辺市民生児童委員協議会への活動費の助成 (区域担当委員、主任児童委員への活動費の助成)	社会福祉	H22～26	円滑な民生委員・児童委員の活動ができるよう活動費の助成をした。	円滑な民生委員・児童委員の活動ができるよう活動費の助成をした。
	○民生児童委員・主任児童委員による相談 (再掲1-(2)-①、2-(3)-②)	社会福祉		地域の中で相談援助活動を行っている民生委員・児童委員に対して、円滑な活動が実施できるよう、研修等による支援を行った。	地域の中で相談援助活動を行っている民生委員・児童委員に対して、円滑な活動が実施できるよう、研修等による支援を行った。
児童福祉施設等における相談の実施	○保育所における相談事業 (再掲1-(2)-①、2-(3)-②)	子育て支援	H22～26	年間860人から相談を受けた	年間793人から相談を受けた
	○児童館における相談事業 (再掲1-(2)-①、2-(1)-③、2-(3)-②)	子育て支援		保護者からの相談件数 124件 発達・しつけ・遊びなど子育て全般について相談を受ける。 日常の会話の中での相談についての件数は含んでいない。	保護者からの相談件数 88件 発達・しつけ・遊びなど子育て全般について相談を受ける。 日常の会話の中での相談についての件数は含んでいない。
	○家庭児童相談室での相談事業(来庁、電話、メール) (再掲1-(2)-①、2-(1)-③、2-(3)-②)	子育て支援		ケース対応件数 養護相談:児童虐待相談 139件 :親の疾患・家庭環境の養護相談 95件 保健・障がい・非行・育成等相談 28件 来庁面接相談回数:109回(延べ167人) 家庭訪問回数:107回(延べ169人) 電話相談回数:89回(延べ428人) メール相談回数:12回(延べ18人)	ケース対応件数 養護相談:児童虐待相談 154件 :親の疾患・家庭環境の養護相談 107件 保健・障がい・非行・育成等相談 40件 来庁面接相談回数:183回(延べ290人) 家庭訪問回数:117回(延べ285人) 電話相談回数:351回(延べ604人) メール相談回数:22回(延べ5人)
	○地域子育て支援センター等での子育て相談事業 (再掲1-(2)-①、2-(3)-②)	子育て支援		支援センター等での子育て相談 電話65 来所305 事業内実施時323	支援センター等での子育て相談 電話60 来所7 事業内実施時431
	○相談体制の充実等 ・関係職員の研修、技能向上 ・相談対応に当たったの関係部署等との連携強化等	子育て支援		相談員のほか、母子保健関係保健師、保育士、幼稚園・小学校・中学校教諭、留守家庭児童会指導員、ファミリーサポートセンター、民生児童委員の研修会への参加。 要保護児童対策地域協議会、ケース会議を実施する。	相談員のほか、母子保健関係保健師、保育士、幼稚園・小学校・中学校教諭、留守家庭児童会指導員、ファミリーサポートセンター、民生児童委員の研修会への参加。 要保護児童対策地域協議会、ケース会議を実施する。
	○10か月児発達相談 (再掲1-(1)-①、1-(2)-①、2-(3)-②)	子育て支援		年12回 対象児:601 受診者:569 受診率:94.7%	年12回 対象児:573人 受診者:546人 受診率:95.3%

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

児童福祉施設等における相談の実施	○2歳児発達相談 (再掲1-(1)-①、1-(2)-①、2-(3)-②)	子育て支援	H22~26	年12回 対象児:681人 受診者:591人 受診率:86.8%	年12回 対象児:649人 受診者:557人 受診率:85.8%
	○乳幼児相談・赤ちゃんサロン (再掲1-(1)-①、1-(2)-①、2-(3)-②)	子育て支援		年12回 乳幼児 1,024人 妊婦0人	年12回 乳幼児 1,053人 妊婦0人
	○発達相談指導員による発達相談 (再掲1-(1)-①、1-(2)-①、2-(2)-②、2-(3)-②)	子育て支援		実132人(のべ168人)幼稚園1園 保育所2園 療育教室1回 巡回発達相談の実施 年14回 年中児発達サポート事業 公立3保育所 104人実施	実人142(のべ167人)幼稚園1園 巡回発達相談の実施 年14回 年中児発達サポート事業 公立3保育所 110人実施
	○転入時アンケート (再掲1-(1)-①、1-(2)-①、2-(3)-②)	子育て支援		転入者342人中 315人回収(92.1%)	転入者304人中287人回収(94.4%)
学校等における相談体制の充実	○幼稚園での相談事業 (再掲1-(2)-①、2-(3)-②)	学校教育	H22~26	在園中の保護者に対しては、各幼稚園で随時行っている。 次年度入園予定児及びその保護者を対象に親子なかよし学級を開設し、その中で子育てに関する相談に応じている。	在園中の保護者に対しては、各幼稚園で随時行っている。 次年度入園予定児及びその保護者を対象に親子なかよし学級を開設し、その中で子育てに関する相談に応じている。
	○小・中学校での教育相談 (再掲1-(2)-①、2-(1)-③、2-(3)-②)	学校教育		○教育相談 ・小学校(市事業) 実施回数98回(11回×8校+10回×1校)、相談件数327件 ・中学校(府事業) 相談件数 延べ90件、相談人数 延べ582人	○教育相談 ・小学校(市事業) 実施回数101回(11回×7校+12回×2校)、相談件数431件 相談人数(内訳) 保護者267人、児童104人、教師147人、その他11人、計529人 ・中学校(府事業) 相談件数 延べ102件、相談人数 延べ630人

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

◎ 展開する事業群(2-1-3)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(1)	心身を健やかに育む子育て環境の充実
基本施策分野	③	不登校等への対応の推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	25年度実績	26年度実績
子どもへの相談支援(カウンセラー等専門家の支援)(☆)	○児童館における相談事業(指導員と子どものふれあいの中での間接的な相談、手助け)(再掲1-(2)-①、2-(1)-②、2-(3)-②)	子育て支援	H22～26	保護者からの相談件数 124件 発達・しつけ・遊びなど子育て全般について相談を受ける。 日常の会話の中での相談についての件数は含んでいない。	保護者からの相談件数 88件 発達・しつけ・遊びなど子育て全般について相談を受ける。 日常の会話の中での相談についての件数は含んでいない。
	○家庭児童相談室での相談事業(再掲1-(2)-①、2-(1)-②、2-(3)-②)	子育て支援		ケース対応件数 養護相談:児童虐待相談 139件 :親の疾患・家庭環境の養護相談 95件 保健・障がい・非行・育成等相談 28件 来庁面接相談回数:109回(延べ167人) 家庭訪問回数:107回(延べ169人) 電話相談回数:89回(延べ428人) メール相談回数:12回(延べ18人)	ケース対応件数 養護相談:児童虐待相談 154件 :親の疾患・家庭環境の養護相談 107件 保健・障がい・非行・育成等相談 40件 来庁面接相談回数:183回(延べ290人) 家庭訪問回数:117回(延べ285人) 電話相談回数:351回(延べ604人) メール相談回数:22回(延べ5人)
	○小・中学校での教育相談(再掲1-(2)-①、2-(1)-②、2-(3)-②)	学校教育		○教育相談 ・小学校(市事業) 実施回数98回(11回×8校+10回×1校)、相談件数327件 ・中学校(府事業) 相談件数 延べ90件、相談人数 延べ582人	○教育相談 ・小学校(市事業) 実施回数101回(11回×7校+12回×2校)、相談件数431件 相談人数(内訳) 保護者267人、児童104人、教師147人、その他11人、計529人 ・中学校(府事業) 相談件数 延べ102件、相談人数 延べ630人
	○小・中学校でのカウンセラー等専門家による教育相談(☆) 臨床心理士等専門家による学校復帰や進学等に対する支援と保護者への相談体制の充実強化(再掲2-(3)-②)	学校教育		小・中学校で教育相談を実施し、精神衛生面での支援や不登校生徒・保護者への支援、学校に対するコンサルテーション機能を果たしている。 ・小学校(市事業) 実施回数98回、相談件数327件 ・中学校(府事業) 相談件数 延べ90件、相談人数 延べ582人	小・中学校で教育相談を実施し、精神衛生面での支援や不登校生徒・保護者への支援、学校に対するコンサルテーション機能を果たしている。 ・小学校(市事業) 実施回数101回、相談件数431件 保護者267人、児童104人、教師147人、その他11人、計529人 ・中学校(府事業) 相談件数 延べ102件、相談人数 延べ630人
	○適応指導教室(ポットラック)の充実(再掲2-(1)-⑥、2-(3)-②)	学校教育		○適応指導教室充実事業 精神的に不安定な通室生徒への適切な対応を図るため、精神病理の専門家をスーパーバイザーとして招き、カンファレンスを実施した。 年間開室日数202日、通室延人数339人	○適応指導教室充実事業 精神的に不安定な通室生徒への適切な対応を図るため、精神病理の専門家をスーパーバイザーとして招き、カンファレンスを実施した。 年間開室日数203日、通室延人数432人

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

◎ 展開する事業群(2-1-4)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(1)	心身を健やかに育む子育て環境の充実
基本施策分野	④	子どもの健全育成体制の充実

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	25年度実績	26年度実績
教育活動の充実	○職員員の資質の向上(保育士、幼稚園教諭、小・中学校教職員) ・各種研修会への参加 ・初任者研修等	子育て支援	H22~26	年間、延べ254人が受研した	年間、延べ272人が受研した
		学校教育		初任者については、年1回の研究授業及び年1回の研修講座を実施し、2校目研修として年1回実施した。また、2年目、3年目については、年1回の研究授業を実施し、指導力の向上に努めている。 幼稚園の全教員を対象に年4回研修会と年3回公開保育研修を実施し、資質、指導力の向上に努めた。	初任者については、年1回の研究授業及び年1回の研修講座を実施し、2校目研修として年1回実施した。また、2年目、3年目については、年1回の研究授業を実施し、指導力の向上に努めている。 幼稚園の全教員を対象に年4回研修会と公開保育研修を実施し、資質、指導力の向上に努めた。特に今年度は公開保育の持ち方を工夫し、年齢別の公開保育の充実を図った。
	学校教育	○指導体制の充実とそのための条件整備 ・個に応じたきめこまかな指導		小学校1年生に学級運営支援員を配置した(田辺・草内・三山木・薪・桃園小)。	府の1年生補助教員の配置のない学校にも、学級の状況に応じ、学級運営支援員を5名配置した(草内・三山木・薪小)。
幼稚園、保育所と小学校の連携の推進	○児童、保護者、教職員の交流の推進 ・運動会への招待 ・児童の交流	学校教育	H22~26	各小学校で次年度入学予定園児を運動会へ招待し交流を図った。 「もうすぐ1年生」事業に全小学校で取り組み、交流給食や合同の文化鑑賞会、栽培活動等を実施した。	幼小連携年間計画の作成とそれによる計画的な行事交流の実施 幼小接続プログラムの研究よ「もうすぐ1年生」事業の推進を図った。
小・中学校の連携強化	○小・中学校の連携強化 ・小・中学校合同研修(授業参観、授業の指導方法の研究等)	学校教育	H22~26	中学校ブロックによる合同研修 1回/学期 市教育研究会 1回/年	中学校ブロックによる合同研修 1回/学期 市教育研究会 1回/年
社会体育活動に係る情報提供	○広報紙・ホームページ等による情報提供	社会教育・スポーツ推進	H22~26	広報京たなべ、学びの情報誌(年4回)、市、市教育委員会ホームページで情報提供を行った	広報京たなべ、学びの情報誌(年4回)、市、市教育委員会ホームページで情報提供を行った
各種スポーツ教室・大会等の実施	○市民総合体育大会等 ・市民総合体育大会 ・市民マラソン大会等	社会教育・スポーツ推進	H22~26	市民総合体育大会 18種 2,804人 市少年交流大会 600人 市マラソン大会 531人 市陸上競技大会 600人 水泳記録会 156人 市民駅伝競走大会 36チーム260人 市小学生ハンドボール大会 46チーム420人 市小学生ハンドボール交流大会 67チーム563人	市民総合体育大会 18種 2,626人 市少年交流大会 200人 市マラソン大会 1,291人 市陸上競技大会 663人 水泳記録会 146人 市民駅伝競走大会 39チーム228人 市小学生ハンドボール大会 42チーム389人 市小学生ハンドボール交流大会 64チーム539人
		社会教育・スポーツ推進		○スポーツ教室等 ・少年スポーツ教室 ・各種水泳教室等の開催	幼児水泳教室 351人 小学生水泳教室 465人 障害児水泳教室 29人 親子体操教室 54組108人 少年スポーツ教室(中央教室・ハンドボール) 67人 少年スポーツ教室(ハンドボール) 246人
	社会教育・スポーツ推進	○健康体力づくり ・京田辺市生涯スポーツフェスティバル等		市生涯スポーツフェスティバル2013 3,000人 プール無料開放 こどもの日 146人	市生涯スポーツフェスティバル2014 台風のため中止 プール無料開放 こどもの日 259人
スポーツクラブ等の育成	○スポーツクラブ等の育成 ・京たなべ・同志社スポーツクラブ(総合型地域スポーツクラブ)の育成	社会教育・スポーツ推進	H22~26	社会教育関係団体等事業補助金要項に従い補助金の支出 各種スポーツ教室開催の広報活動支援	社会教育関係団体等事業補助金要項に従い補助金の支出 各種スポーツ教室開催の広報活動支援

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

野外活動センターの運営の充実	○野外活動センター運営の充実 ・わくわく体験クラブ等 ・野外活動に親しむ日	社会教育・スポーツ推進	H22～26	野外活動に親しむ日 150人 夕涼みのつどい 90人 野外活動の集い 450人 わくわく体験クラブ 延べ1,209人	野外活動に親しむ日 250人 夕涼みのつどい 120人 野外活動の集い 500人 わくわく体験クラブ 延べ1,047人
地域組織によるスポーツの推進	○地域スポーツ大会開催等 ・地域リーダー研修会 ・スポーツリーダー研修会 ・水泳指導者研修会	社会教育・スポーツ推進	H22～26	市内5地域(大住・田辺・草内・三山木・普賢寺)においてスポーツイベント等の開催 春季・秋季地域スポーツ大会 延べ3,379人 地域におけるスポーツリーダーの育成・研修会の開催 154人 水泳指導者研修会 32人	市内5地域(大住・田辺・草内・三山木・普賢寺)においてスポーツイベント等の開催 春季・秋季地域スポーツ大会 延べ2,799人 地域におけるスポーツリーダーの育成・研修会の開催 128人 水泳指導者研修会 17人
運動公園施設の設備の充実等	○運動公園施設の設備の充実等	社会教育・スポーツ推進	H22～26	田辺公園プールヒートポンプ及び屋外流水起流ポンプ制御盤の更新を行った。	田辺公園プール温度調節計及び温度警報計の設置を行った。
青少年関係団体の育成・支援	○各種団体の育成・支援 ・京田辺市子ども会 ・京田辺市青年団 ・京田辺市青少年問題連絡協議会 ・京田辺市PTA連絡協議会 等	社会教育・スポーツ推進	H22～26	京田辺市青少年問題連絡協議会 7月6日キララフェスティバル会場周辺において青少年健全育成啓発パトロール 夏休み中青少年の「生活環境調査」及び地域パトロール、12月10日青少年生活環境ガイド・啓発チラシの配布 京田辺市PTA連絡協議会10月26日親睦スポーツ大会実施	京田辺市青少年問題連絡協議会に補助金、7月キララフェスティバル会場周辺にてパトロール、8・9月青少年の「生活環境調査」及び地域パトロール実施、10月「生活環境ガイド」の作成・啓発チラシの配布、2月「子育て講演会」の実施、市内9地域委員会との交流・情報交換等、京田辺市PTA連絡協議会総会・役員会、10月親睦スポーツ大会実施等

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

◎ 展開する事業群(2-1-5)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(1)	心身を健やかに育む子育て環境の充実
基本施策分野	⑤	創造性を育む体験学習の充実

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	25年度実績	26年度実績
自然の中での体験学習の充実	○野外活動のつどい(再掲3-(2)-①)	社会教育・スポーツ推進	H22~26	野外活動の集い 450人	野外活動の集い 500人
	○子どもの日(野外活動に親しむ日)無料開放(再掲3-(2)-①)	社会教育・スポーツ推進		野外活動に親しむ日 150人	野外活動に親しむ日 250人
	○土曜わくわく体験教室(再掲3-(2)-①)	社会教育・スポーツ推進		わくわく体験クラブ 延べ1,209人	わくわく体験クラブ 延べ1,047人
	○夕涼みのつどい(再掲3-(2)-①)	社会教育・スポーツ推進		夕涼みのつどい 90人	夕涼みのつどい 120人
ふるさと体験学習の推進	○ふるさと体験学習(小学校区単位で地域の人や学校関係者で体験学習委員会を設置し、年間3~4回)	社会教育・スポーツ推進	H22~26	9地域委員会 合計65事業 参加者総数 約3473人(参加人数不明の事業あり)	9地域委員会 合計66事業 参加者総数 約3473人(参加人数不明の事業あり)
図書館事業の推進	○夏休み子どもフェスティバル(手づくり会、人形劇、映画会等)	社会教育・スポーツ推進	H22~26	中央図書館 ヨーヨーつり 約393人 映画会 65人 北部分室 おはなし会・人形劇 104人 中部分室 手作り紙芝居・絵巻物語芝居 143人	中央図書館 ヨーヨーつり 336人 映画会 120人 北部分室 手づくり会 49人 中部分室 ミニシアター・人形劇・腹話術 96人
	○おはなし会(再掲1-(1)-①)	社会教育・スポーツ推進		中央図書館 69回 1,124人 北部分室 61回 708人 中部分室 28回 257人	中央図書館 67回 1,109人 北部分室 59回 644人 中部分室 28回 198人
	○図書館活動の充実(再掲2-(1)-①)	社会教育・スポーツ推進		視覚障害者向け郵送サービスの開始	図書資料の受入冊数 16,245冊 点字資料作成 36タイトル 子どもの本の講座 参加人数延べ84人 障害がある人へのサービス宅配80回 郵送サービス3回 対面朗読 47回 児童書・絵本の読み聞かせ推奨のための「絵本の紹介コーナー」の設置

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

国際交流の推進	○海外都市等との友好交流 (海外の子どもや留学生などとの交流)	市民参画	H22~26	・テュービンゲン大学同志社日本語センター生の小学校訪問 春期:留学生14名が薪小学校訪問 / 秋期:留学生11名が田辺小学校訪問 ・ウィラル市との絵画交換、展示 本市の幼稚園(8園)・小学校(8校)・中学校(3校)の合計266名が参加、ウィラル市へ267点の作品を送付。ウィラル市の学校(15校)が参加、送付された202点の作品を、京田辺市コミュニティホールで展示。	・テュービンゲン大学同志社日本語センター生の小学校訪問 春期:留学生9名が田辺東小学校訪問 / 秋期:留学生8名が桃園小学校訪問 ・ウィラル市との絵画交換、展示 本市の幼稚園(8園)・小学校(8校)・中学校(3校)の合計232名が参加、ウィラル市へ284点の作品を送付。ウィラル市の学校(14校)が参加、送付された203点の作品を、京田辺市コミュニティホールで展示。
	○多文化交流の機会づくり・情報提供	市民参画		・国際交流員採用事業 市ホームページ英語版の充実、国際交流員主催事業の開催(保育のつどいへの参加など)、区・自治会や保育所等への派遣事業	・国際交流員採用事業 市ホームページ英語版の充実、国際交流員主催事業の開催(保育のつどいへの参加など)、区・自治会や保育所等への派遣事業
	○国際交流体験の支援(ホームステイ受入れや海外での交流体験などを支援する)	市民参画		・京田辺市国際交流体験補助金の交付 Aタイプ(ホームステイ受入れなど) 24件 Bタイプ(海外留学など) 23件	・京田辺市国際交流体験補助金の交付 Aタイプ(ホームステイ受入れなど) 28件 Bタイプ(海外留学など) 28件

◎ 展開する事業群(2-1-6)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(1)	心身を健やかに育む子育て環境の充実
基本施策分野	⑥	子どもの居場所づくりの推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	25年度実績	26年度実績
児童館事業の推進	○なかよしクラブ(各児童館:小・中・高校生対象)	子育て支援	H22~26	延べ利用者数 15,082人	延べ利用者数 9409人
豊かな人間性を育む教育の推進	○適応指導教室(ポットラック)の充実(再掲2-(1)-③、2-(3)-②)	学校教育	H22~26	○適応指導教室充実事業 精神的に不安定な通室生徒への適切な対応を図るため、精神病理の専門家をスーパーバイザーとして招き、カンファレンスを実施した。 年間開室日数202日、通室延人数339人	○適応指導教室充実事業 精神的に不安定な通室生徒への適切な対応を図るため、精神病理の専門家をスーパーバイザーとして招き、カンファレンスを実施した。 年間開室日数203日、通室延人数432人
子どもの居場所づくりの推進	○子どもの居場所づくりの推進(再掲3-(1)-①)	社会教育・スポーツ推進	H22~26	新規2地域開設。42区・自治会のうち14箇所継続実施。	新規2地域開設。42区・自治会のうち15箇所継続実施。
☆ 14 放課後子どもプランの充実(☆)	○放課後子どもプラン(☆)(再掲1-(3)-②)	社会教育・スポーツ推進	H22~26	年間実施日数 83日 野外活動センターと市内全9小学校で実施 子どもの参加延べ人数3,687人	年間実施日数105日 野外活動センターと市内全9小学校で実施 子どもの参加延べ人数4,528人

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

◎ 展開する事業群(2-1-7)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(1)	心身を健やかに育む子育て環境の充実
基本施策分野	⑦	子育てに伴う経済的支援

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	25年度実績	26年度実績
★4 ☆ 19 各種手当の支給による支援(★)	○高等学校奨学金(府制度) ・奨学金により支援を行う (生活保護・ひとり親・市民税非課税世帯)	子育て支援 社会福祉	H22～26	申請者35名	申請者32名
	○子ども手当(★)	子育て支援		公立以外の高校に進学する生活保護受給世帯について、府の奨学金が利用できるよう支援を行った。	公立以外の高校に進学する生活保護受給世帯について、府の奨学金が利用できるよう支援を行った。
	○児童手当	子育て支援		平成24年4月分から児童手当に変更	平成24年4月分から児童手当に変更
	○児童扶養手当(☆) (再掲2-(2)-③)	子育て支援		支給児童 延べ117,002人 支給総額 1,239,045,000円 児童数 9,649人 受給者数 5,927人	支給児童 延べ117,411人 支給総額 1,242,435,000円 児童数 9,686人 受給者数 5,952人
	○母子家庭奨学金 (府制度:広報、申請書配布、進達事務) (再掲2-(2)-③)	子育て支援		支給実人員:429名(内 父子30名) 総支給額:197,966,570円	支給実人員:435名(内 父子34名) 総支給額:199,071,700円
	○交通遺児奨学金 (府制度:広報、申請書配布) (再掲2-(2)-③)	子育て支援		申請者515名	申請者545名
	○市特別児童福祉手当 (再掲2-(2)-③)	子育て支援		申請者2名	申請者2名
	○市特別児童福祉手当 (再掲2-(2)-③)	子育て支援		支給実人員501名 総支給額13,278,600円	支給実人員482名 総支給額12,775,800円
	○特別児童扶養手当 (国制度、府による認定・支給事務:市は進達事務) (再掲2-(2)-②)	子育て支援		受給者数:123名	受給者数:137名
○市心身障害児特別手当 (再掲2-(2)-②)	子育て支援	支給実人員:154名 総支給額:4,550,400円	支給実人員:167名 総支給額:4,831,200円		
☆4 子育て支援医療費の助成(☆)	○子どもの医療費の助成(☆) (再掲1-(1)-⑤)	子育て支援	H22～26	入院:665件 27,512千円 入院外:108,913件 185,893千円	入院:572件 25,706千円 入院外:116,793件 207,334千円
* 不妊治療費助成	○不妊治療費助成事業 (再掲1-(1)-①)	子育て支援	H22～26	不妊治療保険適応分(市助成分) のべ 205人 特定不妊治療(京都府助成分) のべ 49	不妊治療保険適応分(市助成分) のべ 202人 特定不妊治療(京都府助成分) のべ 45人
	○不妊治療費助成事業 (再掲1-(1)-①)		H26	—	男性不妊治療:0名 不育症:0名

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

保育・教育費用の負担軽減	○保育所保育料の軽減 (生活保護・ひとり親世帯等)	子育て支援	H22～26	対象73人に保育料の減免	対象68人に保育料の減免
	○幼稚園就園奨励事業 ・私立幼稚園就園奨励費補助金 ・市立幼稚園保育料減免	学校教育		京田辺市在住の私立幼稚園児の保護者405人に対して保育料の減免事業を行った私立幼稚園22園に補助を実施した。実績40,360,800円。 市立幼稚園在園保護者延べ24人に対して527,800円の減免措置を実施した。	京田辺市在住の私立幼稚園児の保護者500人に対して保育料の減免事業を行った私立幼稚園26園に補助を実施した。実績65,273,300円。 市立幼稚園在園保護者延べ30人に対して1,169,800円の減免措置を実施した。
	○各種援助・補助金による保護者負担の軽減 ・修学旅行費 ・就学援助費 ・特別支援教育就学奨励費 (再掲2-(2)-②)	学校教育		市立小学校児童525人及び中学校生徒441人の保護者に対して修学旅行の補助を行った。実績額 小学校3,675千円、中学校6,615千円。小学校・中学校保護者が負担する学級費を負担(学級消耗品費)。小学校4,677千円、中学校1,970千円を各学校に配分した。 ・就学援助費 小学校711人 42,287千円、中学校380人 20,622千円。 ・特別支援教育就学奨励金 小学校14人 472千円、中学校12人 439千円。	市立小学校児童600人及び中学校生徒440人の保護者に対して修学旅行の補助を行った。実績額 小学校4,193千円、中学校6,600千円。 小学校・中学校保護者が負担する学級費を負担(学級消耗品費)。小学校4,677千円、中学校1,970千円を各学校に配分した。 ・就学援助費 小学校665人 41,077千円、中学校387人 21,825千円。 ・特別支援教育就学奨励金 小学校17人 543千円、中学校11
	○留守家庭児童会負担金の減免	社会教育・スポーツ推進		生活保護世帯の負担金を全額免除	生活保護世帯の負担金を全額免除

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

◎ 展開する事業群(2-2-1)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(2)	子どもの人権擁護の推進
基本施策分野	①	子どもの権利に関する啓発

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	25年度実績	26年度実績
人権意識の高揚	○人権問題研修会	人権啓発推進	H22～26	該当のテーマでは未実施(毎回、様々な人権問題を取り上げるため)	該当のテーマでは未実施(毎回、様々な人権問題を取り上げるため)
	○わくわくワークショップ	人権啓発推進		該当のテーマでは未実施(毎回、様々な人権問題を取り上げるため)	該当のテーマでは未実施(毎回、様々な人権問題を取り上げるため)
	○広報紙、啓発冊子等による啓発	人権啓発推進		該当のテーマでは未実施(毎回、様々な人権問題を取り上げるため)	該当のテーマでは未実施(毎回、様々な人権問題を取り上げるため)
	○ヒューマン映画上映会	人権啓発推進		該当のテーマでは未実施(毎回、様々な人権問題を取り上げるため)	該当のテーマでは未実施(毎回、様々な人権問題を取り上げるため)
子どもの権利、児童福祉の理念の周知	○「児童福祉週間」の実施	子育て支援	H22～26	4月25日～5月24日に週間を設置し、各種事業に述べ1,699人参加	4月25日～5月24日に週間を設置し、各種事業に述べ2,338人参加
	○通常保育での充実(価値観の違いを認める意識の醸成)	子育て支援		障がいのある児童の受け入れ	障がいのある児童の受け入れ
人権教育の充実	○研修会 ・ハートフルフェスタ、幼児、小・中学生の作品展示等 ・人権に係る学習会	社会教育・スポーツ推進	H22～26	人権教育研究会 8月20日 参加者300名 人権教育指導者研修会(市民大学公開講座) 8月23日 参加者61名 京田辺市ハートフルフェスタ 12月7日 参加者70人 人権に係る作品展示 294点 子どもの人権に関する映画鑑賞 3月25日 参加者69名	市人権教育研究会 8月19日 参加者300名(保幼小中の教職員) 京田辺市ハートフルフェスタ 12月6日 講演会:参加者190名 人権に係る作品展示 386点 「子育て講演会」への後援 講演会参加者:220名

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

◎ 展開する事業群(2-2-2)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(2)	子どもの人権擁護の推進
基本施策分野	②	障がい児施策等の充実

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	25年度実績	26年度実績
* 京田辺市障害福祉計画	○各種障がい福祉サービスの給付 ・訪問系サービス ・日中活動系サービス ・居住系サービス ・補装具費支給事業 ・日常生活用具給付事業	障害福祉	H22~26	居宅介護:利用者11名・利用時間 8422時間 行動援護:利用者9名・利用時間 2940時間 短期入所:利用者 62名・利用時間 4823時間 補装具:購入 29件・修理 16件 日常生活用具: 77件	居宅介護:利用者10名・利用時間 5911時間 行動援護:利用者6名・利用時間 2253時間 短期入所:利用者 28名・利用時間762時間 補装具:購入 27件・修理 28件 日常生活用具: 84件
	○地域生活支援事業 ・相談支援事業 ・移動支援事業 ・日中一時支援事業	障害福祉		相談支援事業(利用延べ件数12,237件。児童延べ利用人数 83人) 移動支援事業:利用者72名・利用時間12,039.5時間 日中一時支援事業:利用者53名(実人数)・利用時間6,329時間	相談支援事業(利用延べ件数11,664件。児童延べ利用人数 70人) 移動支援事業:利用者70名・利用時間9,474時間 日中一時支援事業:利用者54名(実人数)・利用時間6,427時間
	○子どもの聞こえ支援事業	障害福祉	H26	—	補聴器:購入2件、修理1件
自立支援医療給付事業の推進	○自立支援医療給付事業の推進(再掲1-(1)-⑤)	障害福祉	H22~26	自立支援医療(精神通院)受給者 39名	自立支援医療(精神通院)受給者 40名
各種手当等の支給による支援	○特別障害者手当	障害福祉	H22~26	在宅の重度障害児・者の負担軽減を図るため、福祉手当の給付を行った。49人(児童)に支給。	在宅の重度障害児・者の負担軽減を図るため、福祉手当の給付を行った。54人(児童)に支給。
	○各種援助・補助金による保護者負担の軽減 ・特別支援教育就学奨励費(再掲2-(1)-⑦)	学校教育		市立小学校児童525人及び中学校生徒441人の保護者に対して修学旅行の補助を行った。実績額 小学校3, 675千円、中学校6, 615千円。小学校・中学校保護者が負担する学級費を負担(学級消耗品費)。小学校4, 677千円、中学校1, 970千円を各学校に配分した。 ・就学援助費 小学校711人 42, 287千円、中学校380人 20, 622千円。 ・特別支援教育就学奨励金 小学校14人 472千円、中学校12人 439千円。	・特別支援就学奨励費 小学校 17人 543千円、中学校 11人 249千円
	○特別児童扶養手当(再掲2-(1)-⑦)	子育て支援		受給者数:123名	受給者数:137名
	○市中心身障害児童特別手当(再掲2-(1)-⑦)	子育て支援		支給実人員:154名 総支給額:4,550,400円	支給実人員:167名 総支給額:4,831,200円

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

発達相談指導員による発達相談	○発達相談指導員による発達相談 (再掲1-(1)-①、1-(2)-①、2-(1)-②、 2-(3)-②)	子育て支援	H22～26	実132人(のべ168人)幼稚園1園 保育所2園 療育教室1回	実142人(のべ167人)幼稚園1園
障がい児保育・教育等の推進	○障がい児保育の実施 (保育所での保育に欠ける障がいのある 児童の受入れ)	子育て支援	H22～26	35人	51人
	○障がいのある児童の訪問 (再掲1-(1)-①)	子育て支援		24件(のべ31回)	2件(のべ3回)
	○児童デイサービス事業	子育て支援		年間116人が利用した(実人数)	年間169人が利用した(実人数)
	○サマースクール事業への支援	障害福祉		学校の夏休み期間を利用して行われる社会福祉協議会の事業 に対し支援等を行った。(H25.7～H25.8のうち10日実施。)	学校の夏休み期間を利用して行われる京田辺サマースクール実 行委員会の事業に対し支援等を行った。(H26.7～H26.8のうち11 日実施。)
	○就学指導委員会活動の充実	学校教育		保・幼・小・中学校と特別支援学校及び関係機関との連携を密に し、障害のある幼児、児童及び生徒の発達状況等を的確に把握 し、個に応じた適切な就・修学指導と進路指導の充実に努めた。	保・幼・小・中学校と特別支援学校及び関係機関との連携を密に し、障害のある幼児、児童及び生徒の発達状況等を的確に把握 し、個に応じた適切な就・修学指導と進路指導の充実に努めた。
	○特別支援教育の推進	学校教育		京田辺市特別支援担当者会議を年2回開催し、研修及び情報交 換をした。また市独自の巡回相談員を任命し、要望のある幼・小・ 中学校へ相談のための巡回をした。17年度から保・幼・小・中の 連携をしている。補助金額76千円	京田辺市特別支援担当者会議を年2回開催し、研修及び情報交 換をした。また市独自の巡回相談員を任命し、要望のある幼・小・ 中学校へ相談のための巡回をした。17年度から保・幼・小・中の 連携をしている。補助金額129千円
学校施設のバリアフリー化	○学校施設のバリアフリー化 (小・中学校への障がいのある児童の受け 入れに当たり、施設のバリアフリー化を図 る)	学校環境整備	H22～26	田辺中学校管理棟大規模改修工事及び耐震改修工事を行った (既設分)	-
留守家庭児童会の充実	○留守家庭児童会での障がいのある児童 の受入れ	社会教育・ス ポーツ推進	H22～26	8児童会・16学級を開設・受入学年1年生から4年生まで受入人 数558人。障がいのある児童を含め希望者全員受入。 夏休み期間受け入れ学年を5・6年生に拡大(大住・田辺東)	8児童会・22学級を開設、4月1日時点の入会児童数590人 障がいのある児童全員を受入 入会児童の対象学年を小学校全学年に拡大

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

◎ 展開する事業群(2-2-3)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(2)	子どもの人権擁護の推進
基本施策分野	③	ひとり親家庭への支援

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	25年度実績	26年度実績
民生児童委員・主任児童委員への活動支援	○京田辺市民生児童委員協議会への活動費の助成(再掲2-(1)-(2))	社会福祉	H22~26	円滑な民生委員・児童委員の活動ができるよう活動費の助成をした。	円滑な民生委員・児童委員の活動ができるよう活動費の助成をした。
母子家庭医療費助成事業	○母子家庭医療費助成事業(再掲1-(1)-(5))	国保医療	H22~26	平成25年度給付実績 12,963件 39,420千円 ※平成25年8月1日から、父子家庭も対象となりました。	平成26年度給付実績 14,564件 44,309千円
ひとり親家庭の日常生活支援	○母子自立支援員等によるひとり親家庭への相談支援	子育て支援	H22~26	自立支援員未設置	自立支援員未設置
	○母子家庭日常生活支援事業(府制度)	子育て支援		府制度周知	府制度周知
	○母子世帯府営住宅優先入居(府制度)	子育て支援		1世帯入居	1世帯入居
各種手当の支給による支援(☆)	○児童扶養手当(☆)(再掲2-(1)-(7))	子育て支援	H22~26	支給実人員:429名(内 父子30名) 総支給額:197,966,570円	支給実人員:435名(内 父子34名) 総支給額:199,071,700円
	○市特別児童福祉手当(再掲2-(1)-(7))	子育て支援		支給実人員501名 総支給額13,278,600円	支給実人員:482名 総支給額:12,775,800円
	○母子家庭奨学金(再掲2-(1)-(7))	子育て支援		申請者515名	申請者545名
	○交通遺児奨学金(再掲2-(1)-(7))	子育て支援		申請者2名	申請者2名
ひとり親家庭の交流促進	○ひとり親家庭新入学児童を祝い励ます会の開催	子育て支援	H22~26	新入学児童を祝い励ます会に参加者8世帯。 ひとり親家庭新入学児童28名にランリュックを贈呈	新入学児童を祝い励ます会に参加者12世帯。 ひとり親家庭新入学児童28名にランリュックを贈呈
	○京田辺母子会活動の支援・母子家庭交流事業支援等	子育て支援		会員数 約90人 補助金の支給73,000円 各催しでの社会福祉協議会・民生委員協議会との連携で支援を行った。	会員数 約90人 補助金の支給73,000円 各催しでの社会福祉協議会・民生委員協議会との連携で支援を行った。
職業技能訓練給付事業	○高等技能訓練促進給付事業	子育て支援	H22~26	受給者8名	受給者8名
	○自立支援教育訓練給付事業	子育て支援		受給者1名	受給者1名

☆
19

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

ファミリー・サポート・センター事業	○ファミリー・サポート・センターにおける優先利用	子育て支援	H22～26	希望者は全員利用できている。	希望者は全員利用できている。
女性相談・男性相談	○女性の相談室 (再掲1-(3)-③、2-(3)-②)	市民参画	H22～26	<ul style="list-style-type: none"> ・専門相談 毎月第1・3木曜日23回48件相談 ・出張相談 年5回、10件相談 ・一般相談 毎週月～金曜日 86件相談 ・法律相談 毎月第4水曜日12回 29件相談 ・再就職・チャレンジ相談及び母子家庭等自立支援相談 2回(10件相談) 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門相談 毎月第1・3木曜日 23回、49件相談 ・出張相談 年5回、3件相談 ・一般相談 毎週月～金曜日 105件相談 ・法律相談 毎月第4水曜日 12回、25件相談 ・再就職・チャレンジ相談及び母子家庭等自立支援相談 2回、12件相談
	○男性相談 (再掲1-(3)-③、2-(3)-②)	市民参画		なし	なし

◎ 展開する事業群(2-2-4)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(2)	子どもの人権擁護の推進
基本施策分野	④	外国人家庭や帰国子女への支援

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	25年度実績	26年度実績
世界に開かれたまちづくりの推進	○サポート体制の充実 (市内在住外国人等への情報提供等)	市民参画	H22～26	・京田辺市生活ガイドブック(英語版・韓国語版・中国語版)を作成し、市役所、同志社大学多々羅キャンパス京田辺まちの情報コーナー等に配架、ホームページに掲載	・京田辺市生活ガイドブック(英語版・韓国語版・中国語版)を、市役所、同志社大学多々羅キャンパス京田辺まちの情報コーナー等に配架、ホームページに掲載
	○外国語母子健康手帳の交付 (再掲1-(2)-②)	子育て支援		発行:英語3冊	発行:0冊

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

◎ 展開する事業群(2-3-1)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(3)	子どもの虐待防止対策の推進
基本施策分野	1	虐待防止のネットワークの推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	25年度実績	26年度実績
要保護児童対策地域協議会の機能強化	○代表者会議の充実	子育て支援	H22～26	年間2回開催	年間2回開催
	○実務者会議の充実	子育て支援		実務者会議 5回	実務者会議 5回
	○個別ケース検討会議の充実(情報交換、支援内容の協議等)	子育て支援		個別ケース検討会議 のべ46回	個別ケース検討会議 のべ68回
虐待通告の対応体制の強化	○市民よりの通告の対応体制の強化	子育て支援	H22～26	「STOP!子ども虐待」リーフレットを街頭啓発・産業祭・歯のひろば・民生児童委員活動にて配布 庁舎2, 470枚 子どもSOSカードをリニューアル 学校入り口に設置 600枚、小学3年生～中学3年生に配布 4, 530枚、子どもにかかわる関係機関に設置1, 200枚、随時 児童虐待対応マニュアル配布 随時	「STOP!子ども虐待」リーフレットを街頭啓発・産業祭・歯のひろば・民生児童委員活動にて配布 子育て相談案内カードデザイン募集、作成、配布(随時)設置(71か所) SOSカード学校入り口に設置、小学3年生に配布 745枚、随時 児童虐待対応マニュアル配布 随時
	○関係機関よりの通告の対応体制の強化	子育て支援		家庭児童相談室専用メール開設 メール相談回数:12回(延べ18人)	家庭児童相談室専用メール開設 メール相談回数:22回(延べ5人)
他機関との連携による見守り体制強化	○他機関との連携による見守り体制の強化	子育て支援	H22～26	要保護児童対策地域協議会(代表者会議 年2回、実務者会議 年5回)、ケース会議も随時開催する。 保育所・幼稚園・小中学校との定期的な情報提供の実施(要保護児童・要支援児童・特定妊婦)。	要保護児童対策地域協議会(代表者会議 年2回、実務者会議 年5回)、ケース会議も随時開催する。 保育所・幼稚園・小中学校との定期的な情報提供の実施(要保護児童・要支援児童・特定妊婦)。
	○児童相談所への援助依頼・送致	子育て支援		児相関連ケース43人 援助依頼 17人 送致 1人 一時保護 6人 施設入所 2人	児相関連ケース46人 援助依頼 15人 送致 1人 一時保護 9人 施設入所 2人
	○警察との連携による緊急対応	子育て支援		警察からのケース連絡 1件	警察からのケース連絡 4件

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

◎ 展開する事業群(2-3-2)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(3)	子どもの虐待防止対策の推進
基本施策分野	②	相談事業の推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	25年度実績	26年度実績
各種健診における相談	○3か月児健康診査(再掲1-(1)-①)	子育て支援	H22~26	年24回 対象児:580人 受診者:565人 受診率:97.4%	年24回 対象児:570人 受診者:566人 受診率:99.3%
	○1歳6か月児健康診査(再掲1-(1)-①)	子育て支援		年12回 対象児:659人 受診者:619人 受診率:93.9%	年12回 対象児:657人 受診者:604人 受診率:91.9%
	○3歳6か月児健康診査(再掲1-(1)-①)	子育て支援		年12回 対象児:654人 受診者:574人 受診率:87.8%	年12回 対象児:711人 受診者:619人 受診率:87.1%
各種発達相談における相談	○10か月児発達相談(再掲1-(1)-①、1-(2)-①、2-(1)-②)	子育て支援	H22~26	年12回 対象児:601 受診者:569 受診率:94.7%	年12回 対象児:573人 受診者:546人 受診率:95.3%
	○2歳児発達相談(再掲1-(1)-①、1-(2)-①、2-(1)-②)	子育て支援		年12回 対象児:681人 受診者:591人 受診率:86.8%	年12回 対象児:649人 受診者:557人 受診率:85.8%
	○乳幼児相談・赤ちゃんサロン(再掲1-(1)-①、1-(2)-①、2-(1)-②)	子育て支援		年12回 乳幼児 1,024人 妊婦0人	年12回 乳幼児 1,053人 妊婦0人
	○発達相談指導員による発達相談(再掲1-(1)-①、1-(2)-①、2-(1)-②、2-(2)-②)	子育て支援		実132人(のべ168人)幼稚園1園 保育所2園 療育教室1回 巡回発達相談の実施 年14回 年中児発達サポート事業 公立3保育所 104人実施	実142人(のべ167人)幼稚園1園 巡回発達相談の実施 年14回 年中児発達サポート事業 公立3保育所 110人実施
	○転入時アンケート(再掲1-(1)-①、1-(2)-①、2-(1)-②)	子育て支援		転入者342人中 315人回収(92.1%)	転入者304人中287人回収(94.4%)
家庭児童相談室での相談	○家庭児童相談室での相談事業(再掲1-(2)-①、2-(1)-②、2-(1)-③)	子育て支援	H22~26	ケース対応件数 養護相談:児童虐待相談 139件 :親の疾患・家庭環境の養護相談 95件 保健・障がい・非行・育成等相談 28件 来庁面接相談回数:109回(延べ167人) 家庭訪問回数:107回(延べ169人) 電話相談回数:89回(延べ428人) メール相談回数:12回(延べ18人)	ケース対応件数 養護相談:児童虐待相談 154件 :親の疾患・家庭環境の養護相談 107件 保健・障がい・非行・育成等相談 40件 来庁面接相談回数:183回(延べ290人) 家庭訪問回数:117回(延べ285人) 電話相談回数:351回(延べ604人) メール相談回数:22回(延べ5人)
地域子育て支援センター等での相談	○地域子育て支援センター等での子育て相談事業(再掲1-(2)-①、2-(1)-②)	子育て支援	H22~26	支援センター等での子育て相談 電話65 来所305 事業内実施時323	支援センター等での子育て相談 電話60 来所7 事業内実施時431
保育所における相談事業	○保育所における相談事業(再掲1-(2)-①、2-(1)-②)	子育て支援	H22~26	年間860人から相談を受けた	年間793人から相談を受けた
児童館における相談事業	○児童館における相談事業(再掲1-(2)-①、2-(1)-②、2-(1)-③)	子育て支援	H22~26	保護者からの相談件数 124件 発達・しつけ・遊びなど子育て全般について相談を受ける。	保護者からの相談件数 88件 発達・しつけ・遊びなど子育て全般について相談を受ける。

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

☆
18

幼稚園での相談事業	○幼稚園での相談事業 (再掲1-(2)-①、2-(1)-②)	学校教育	H22~26	在園中の保護者に対しては、各幼稚園で随時行っている。次年度入園予定児及びその保護者を対象に親子なかよし学級を開設し、その中で子育てに関する相談に応じている。	在園中の保護者に対しては、各幼稚園で随時行っている。次年度入園予定児及びその保護者を対象に親子なかよし学級を開設し、その中で子育てに関する相談に応じている。
学校における相談(☆)	○小・中学校での教育相談(再掲1-(2)-①、2-(1)-②、2-(1)-③)	学校教育	H22~26	○教育相談 ・小学校(市事業) 実施回数98回(11回×8校+10回×1校)、相談件数327件 ・中学校(府事業) 相談件数 延べ90件、相談人数 延べ582人	○教育相談 ・小学校(市事業) 実施回数101回(11回×7校+12回×2校)、相談件数431件 相談人数(内訳) 保護者267人、児童104人、教師147人、その他11人、計529人 ・中学校(府事業) 相談件数 延べ102件、相談人数 延べ630人
	○小・中学校でのカウンセラー等専門家による教育相談(☆)(再掲2-(1)-③)	学校教育		小・中学校で教育相談を実施し、精神衛生面での支援や不登校生徒・保護者への支援、学校に対するコンサルテーション機能を果たしている。 ・小学校(市事業) 実施回数98回、相談件数327件 ・中学校(府事業) 相談件数 延べ90件、相談人数 延べ582人	小・中学校で教育相談を実施し、精神衛生面での支援や不登校生徒・保護者への支援、学校に対するコンサルテーション機能を果たしている。 ・小学校(市事業) 実施回数101回、相談件数431件 保護者267人、児童104人、教師147人、その他11人、計529人 ・中学校(府事業) 相談件数 延べ102件、相談人数 延べ630人
	○適応指導教室(ポットラック)の充実(再掲2-(1)-③、2-(1)-⑥)	学校教育		○適応指導教室充実事業 精神的に不安定な通室生徒への適切な対応を図るため、精神病理の専門家をスーパーバイザーとして招き、カンファレンスを実施した。 年間開室日数202日、通室延人数339人	○適応指導教室充実事業 精神的に不安定な通室生徒への適切な対応を図るため、精神病理の専門家をスーパーバイザーとして招き、カンファレンスを実施した。 年間開室日数203日、通室延人数432人
民生児童委員・主任児童委員による相談	○民生児童委員・主任児童委員による相談(再掲1-(2)-①、2-(1)-②)	社会福祉	H22~26	地域の中で相談援助活動を行っている民生委員・児童委員に対して、円滑な活動が実施できるよう、研修等による支援を行った。	地域の中で相談援助活動を行っている民生委員・児童委員に対して、円滑な活動が実施できるよう、研修等による支援を行った。
女性相談・男性相談	○女性の相談室(再掲1-(3)-③、2-(2)-③)	市民参画	H22~26	・専門相談 毎月第1・3木曜日23回48件相談 ・出張相談 年5回、10件相談 ・一般相談 毎週月～金曜日 86件相談 ・法律相談 毎月第4水曜日12回 29件相談 ・再就職・チャレンジ相談及び母子家庭等自立支援相談 2回(10件相談)	・専門相談 毎月第1・3木曜日 23回、49件相談 ・出張相談 年5回、3件相談 ・一般相談 毎週月～金曜日 105件相談 ・法律相談 毎月第4水曜日 12回、25件相談 ・再就職・チャレンジ相談及び母子家庭等自立支援相談 2回、12件相談
	○男性相談(再掲1-(3)-③、2-(2)-③)	市民参画		なし	なし

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

◎ 展開する事業群(2-3-3)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(3)	子どもの虐待防止対策の推進
基本施策分野	③	訪問事業の推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	25年度実績	26年度実績
* 保健師等による訪問	○こんにちは赤ちゃん事業(再掲1-(1)-①)	子育て支援	H22~26	対象児:565人 受診者:520人(里帰り含む) 受診率:92.0%	対象児:558人 受診者:526人(里帰り含む) 受診率:94.3%
	○耳の聞こえチェックリストの配布(再掲2-(3)-③)	子育て支援	H26	—	チェックリストからの相談:0件
	○養育支援訪問事業(再掲1-(1)-①)	子育て支援	H22~26	95件(実訪問件数)	85件(実訪問件数)
	○幼稚園、保育所への訪問	子育て支援		年中児発達サポート事業(育なびサポート事業)として、公立保育所にて実施121人、巡回支援14回、その他適宜保健師が巡回している。 健診後経観察のために、民間保育園6回、公立幼稚園10回、私立幼稚園3回、市外幼稚園3回訪問している。	年中児発達サポート事業(育なびサポート事業)として、公立保育所にて実施110人、巡回支援14回、その他適宜保健師が巡回している。 健診後経観察のために、民間保育園6回、公立幼稚園11回、私立幼稚園2回、市外幼稚園3回訪問している。
☆ 20 家庭相談員による訪問	○妊婦への訪問	子育て支援	H22~26	4人3世帯(うち特定妊婦2世帯)	8人3世帯(うち特定妊婦3世帯)
	○要保護児童家庭への訪問	子育て支援		要保護児童家庭等への家庭訪問回数:107回(延べ169人)	要保護児童家庭等への家庭訪問回数:117回(延べ285人)
	○施設退所後のフォロー訪問	子育て支援		1件	0件
ヘルパーによる訪問(☆)	○ヘルパーによる訪問(☆) ・家事援助訪問 ・育児援助訪問	子育て支援	H22~26	産後ホームヘルパー派遣 5人(のべ 111人)	実人数 8人 のべ派遣時間 121.5時間

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

◎ 展開する事業群(2-3-4)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(3)	子どもの虐待防止対策の推進
基本施策分野	④	意識啓発の推進

★
5

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	25年度実績	26年度実績
市民に対する広報・啓発(☆)	○ホームページの充実 (再掲1-(2)-①、1-(2)-②)	子育て支援	H22～26	子どもの権利条約について掲載	子どもの権利条約について掲載
	○パンフレットの配布(☆) (再掲1-(2)-①、1-(2)-②)	子育て支援		「STOP!こども虐待」リーフレットを街頭啓発・産業祭・歯のひろば・民生児童委員活動にて配布 庁舎2,470枚 こどもSOSカードをリニューアル 学校入り口に設置 600枚、小学3年生～中学3年生に配布 4,530枚、子どもにかかわる関係機関に設置1,200枚、随時 児童虐待対応マニュアル配布 随時 関連事業HPに掲載 広報京たなべシリーズ連載(8・10・11・12月号)	「STOP!こども虐待」リーフレットを街頭啓発・産業祭・歯のひろば・民生児童委員活動にて配布 子育て相談案内カードデザイン募集、作成、配布(随時)設置(71か所) SOSカード学校入り口に設置、小学3年生に配布 745枚、随時 児童虐待対応マニュアル配布 随時 関連事業HPに掲載 広報京たなべ子どもの虐待防止月間の取り組みについて掲載
子育て関係者等に対する啓発	○子育て関係者に対するパンフレット等の配布 (再掲1-(2)-①、1-(2)-②)	子育て支援	H22～26	「STOP!こども虐待」リーフレットを街頭啓発・産業祭・歯のひろば・民生児童委員活動にて配布 庁舎2,470枚 こどもSOSカードをリニューアル 学校入り口に設置 600枚、小学3年生～中学3年生に配布 4,530枚、子どもにかかわる関係機関に設置1,200枚、随時 児童虐待対応マニュアル配布 随時	「STOP!こども虐待」リーフレットを街頭啓発・産業祭・歯のひろば・民生児童委員活動にて配布 子育て相談案内カードデザイン募集、作成、配布(随時)設置(71か所) SOSカード学校入り口に設置、小学3年生に配布 745枚、随時 児童虐待対応マニュアル配布 随時

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

◎ 展開する事業群(2-3-5)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(3)	子どもの虐待防止対策の推進
基本施策分野	⑤	虐待防止のための体制整備

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	25年度実績	26年度実績
研修の充実	○研修の充実 ・講演会の開催 ・専門的研修の実施	子育て支援	H22～26	ペアレンティングトレーニング(夫婦) 1回シリーズ実施 42名 商工会青年部・女性部対象に研修会 2回 22名 小学校教育相談部 1回 18名 民間保育所人権研修会 1回 48名 公立保育所家庭支援担当保育士研修会 1回 5名 民生児童委員研修会 1回 23名	小学校教育相談部 1回 13名 公立保育所家庭支援担当保育士研修会 1回 5名 民生児童委員研修会 2回 98名
★3 子育て短期支援事業(★)	○ショートステイ事業(★) (再掲1-(3)-①)	子育て支援	H22～26	平成25年4月からの実施 委託先(児童養護施設および乳児院「大和の家」、児童養護施設「桃山学園」)に委託契約 利用日数:19日	委託先(児童養護施設および乳児院「大和の家」、児童養護施設「桃山学園」)に委託契約 利用日数:7日
集団生活における支援	○集団生活における支援 ・学校との連携及び支援 ・幼稚園との連携及び支援 ・保育所との連携及び支援	子育て支援	H22～26	保育所・幼稚園・小中学校との定期的な情報提供の実施(64回)	保育所・幼稚園・小中学校との定期的な情報提供の実施(64回)

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

◎ 展開する事業群(3-1-1)

基本目標	3	子どもが安心して暮らし、育つことができる環境づくり
施策目標	(1)	地域における子育て支援の推進
基本施策分野	①	地域の教育力・社会力の向上

★ 新規事業(5) ☆ 拡充事業(26) * 計画にない新規H22(2)・H23(2)

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	25年度実績	26年度実績
生涯学習人材バンク	○生涯学習事業保育ボランティア事業(市民の生涯学習事業支援のための人材派遣・斡旋)	社会教育・スポーツ推進	H22～26	保育ボランティア登録者数14人 11月23日草内小ミニライブ2名 2月16日教育講演会2名	保育ボランティア登録者数20人 教育講演会 2月14日
子育てセミナーの開催	○子育てセミナー(再掲1-(1)-④、1-(2)-①、1-(3)-③、2-(1)-①)	社会教育・スポーツ推進	H22～26	家庭教育子育てセミナー(中央市民大学公開講座)9月13日参加者20人 地域子育てセミナー(8小学校)8事業 参加者451人	地域子育てセミナー(全9小学校)9事業 参加者796人
ふるさと体験学習の推進	○ふるさと体験学習(再掲2-(1)-⑤、3-(1)-②)	社会教育・スポーツ推進	H22～26	9地域委員会 合計65事業 参加者総数 約3473人(参加人数不明の事業あり)	9地域委員会 合計66事業 参加者総数 約7812人(参加人数不明の事業あり)
子どもの居場所づくりの推進	○子どもの居場所づくりの推進(再掲2-(1)-⑥)	社会教育・スポーツ推進	H22～26	新規2地域開設。42区・自治会のうち14箇所継続実施。	新規2地域開設。42区・自治会のうち15箇所継続実施。

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

◎ 展開する事業群(3-1-2)

基本目標	3	子どもが安心して暮らし、育つことができる環境づくり
施策目標	(1)	地域における子育て支援の推進
基本施策分野	②	地域における世代間交流等の推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	25年度実績	26年度実績
高齢者等との交流の推進	○大住ふれあいセンターでの交流事業の推進	子育て支援	H22～26	①高齢者と小学生のグラウンドゴルフ交流会(年2回:7月・10月) ※高齢者が子どもたちに技を伝授 ②よもぎだんごづくり(6月1日) ※高齢者が子どもたちに調理を指導 ③高齢者と子どもたちとのもちつき交流会(年1回:1月) ※高齢者のリードのもと ④紙粘土でオリジナルフォトフレームをつくろう(2月22日) ※高齢者と小学生と一緒に製作	①高齢者と小学生のグラウンドゴルフ交流会(年2回:5月・10月) ※高齢者が子どもたちに技を伝授 ②ながしそうめん(7月26日) ※高齢者が子どもたちにながしそうめん台の作り方を指導 ③高齢者と子どもたちとのもちつき交流会(年1回:1月) ※高齢者のリードのもと
	○保育所地域活動事業 ・世代間交流事業 (保育所児童の老人福祉施設等への訪問活動等) (再掲3-(1)-⑤)	子育て支援		公立・民間保育所(園)で老人福祉施設の訪問・地域の老人との交流事業(餅つき・観劇)・囲碁教室を実施	公立・民間保育所(園)で老人福祉施設の訪問・地域の老人との交流事業(餅つき・観劇)・囲碁教室を実施
ふるさと体験学習の推進	○ふるさと体験学習 (再掲2-(1)-⑤、3-(1)-①)	社会教育・スポーツ推進	H22～26	9地域委員会 合計65事業 参加者総数 約3473人(参加人数不明の事業あり)	9地域委員会 合計66事業 参加者総数 約7812人(参加人数不明の事業あり)

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

◎ 展開する事業群(3-1-3)

基本目標	3	子どもが安心して暮らし、育つことができる環境づくり
施策目標	(1)	地域における子育て支援の推進
基本施策分野	③	地域における子育て支援団体等の活動の充実

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	25年度実績	26年度実績
民生児童委員・主任児童委員による子育て支援事業への支援	○子育てサロン(再掲3-(1)-④)	社会福祉	H22~26	親同士、子同士の気軽な交流の場として、各地域で実施されている子育て支援事業に対する民生委員・児童委員の活動を支援した。	親同士、子同士の気軽な交流の場として、各地域で実施されている子育て支援事業に対する民生委員・児童委員の活動を支援した。
子ども会育成事業の推進	○子ども会育成事業・地域子ども会の育成と支援	社会教育・スポーツ推進	H22~26	子ども体験教室(中央公民館事業) 7月27日 午前・午後延べ46人参加	子ども体験教室(中央公民館事業) 7月27日・8月20日・8月21日・8月27日 午前・午後延べ108人参加
★5 子どもの遊び場情報誌の作成(★)	○子どもの遊び場情報誌の作成(★)(再掲3-(1)-⑥)	子育て支援	H22~26	同志社大学のロームプロジェクトにおいての企画で作成したマップデータを4000部印刷。	なし
市民活動の支援	○市民団体の活動助成	市民参画	H22~26	・市民活動推進補助金の交付 3件	・市民活動推進補助金の交付 1件
	○(仮称)市民活動講座	市民参画	H22~24	・市民活動はじめての一步実践講座の開催 7回シリーズ、受講生11人	・市民活動はじめての一步実践講座の開催 5回シリーズ、受講生8人 ・市民活動パワーアップセミナーの開催 受講者 15名

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

◎ 展開する事業群(3-1-4)

基本目標	3	子どもが安心して暮らし、育つことができる環境づくり
施策目標	(1)	地域における子育て支援の推進
基本施策分野	④	仲間づくり、子育て支援のネットワークづくりの推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	25年度実績	26年度実績
仲間づくりの支援	○親子なかよし学級(幼稚園)	学校教育	H22~26	次年度3歳児となる幼児と保護者を対象に、市立幼稚園8園で実施し、参加実績244組。	次年度3歳児となる幼児と保護者を対象に、市立幼稚園8園で実施し、参加実績320組。
	○子育てサロン(再掲3-(1)-③)	社会福祉		親同士、子同士の気軽な交流の場として、各地域で実施されている子育て支援事業に対する民生委員・児童委員の活動を支援した。	親同士、子同士の気軽な交流の場として、各地域で実施されている子育て支援事業に対する民生委員・児童委員の活動を支援した。
	○ふれあい広場(児童館)	子育て支援		延べ利用者数(保護者含む) 田辺児童館 101人 普賢寺児童館 427人 大住児童館 12,163人 合計 12,691人	延べ利用者数(保護者含む) 田辺児童館 117人 普賢寺児童館 314人 大住児童館 12,669人 合計13,100人
	○親子教室(児童館)	子育て支援		延べ利用者数(保護者を含む) 普賢寺児童館 5,909人 大住児童館 3,518人 南山こどもセンター 902人 合計 10,329人	延べ利用者数(保護者を含む) 普賢寺児童館 6,655人 大住児童館 3,305人 南山こどもセンター 607人 合計 10,567人
	○園庭開放(保育所)	子育て支援		3つの保育所が年間72回園庭を開放し、延べ578人が利用した	3つの保育所が年間72回園庭を開放し、延べ664人が利用した
	○地域子育て支援センター事業	子育て支援		河原・大住子育て支援センターにおいて 園庭開放3,643人 親子あそび1,951人 すくすくサロン308人 サークル活動のサポート出前保育1176名	河原・大住子育て支援センターにおいて 園庭開放5,353人 すくすくサロン658人 サークル活動のサポート出前保育1077名

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

育児サークルの支援	○子育てサークルの支援 ・サークルリーダー交流会	子育て支援	H22~26	ねこバス 3回/年 合計 76名 トレジャー・キッズ☆ 3回/年 59名 子育てママ応援し隊「はいはい」 2回/年 56名 ピー・カー・プー！ 1回/年 89名 あっぷっぷ・あおいくま合同 1回/年 42名 ちびミッフィー 1回/年 25名 6月7日サークルリーダー交流会(事業紹介・交流) 合計 23名 11月1日サークルリーダー交流会(あそびの紹介・交流会)合計 26名 12月6日サークル向け講習会(歯について) 合計 53名 12月7日サークル向け講習会(わらべうた) 合計 20名	ねこバス 3回/年 合計 63名 びっぴ 1回/年15名 ピー・カー・プー！ 3回/年 163名 Babyピー・カー・プー！ 1回/年 36名 どろんこクラブ 1回/年 14名 ちびミッフィー 2回/年 52名 6月6日サークルリーダー交流会(遊びの紹介) 合計 34名 11月19日サークルリーダー交流会(クリスマス政策・交流会)合計22名 12月10日サークル向け講習会(救命講習) 合計 12名 2月5日サークル向け講習会(わらべうた) 合計 37名
	○保健師等の派遣	子育て支援		サークルへ派遣 3回	サークルへ派遣 3回
	○えぶろんママの派遣	子育て支援		サークルへ派遣 11回	サークルへ派遣 16回
	○活動場所の提供等 (児童館、地域子育て支援センター等)	子育て支援		社会福祉センター 28回 コミュニティホール 1回	社会福祉センター 19回 中部住民センター 1回 中央公民館 1回 コミュニティホール 1回

◎ 展開する事業群(3-1-5)

基本目標	3	子どもが安心して暮らし、育つことができる環境づくり
施策目標	(1)	地域における子育て支援の推進
基本施策分野	⑤	学校等における地域との交流の推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	25年度実績	26年度実績
地域に開かれた保育事業の推進	○保育所地域活動事業 ・保育所体験事業(園庭開放) ・育児講座 ・世代間交流事業 (再掲3-(1)-②)	子育て支援	H22~26	公立・民間保育所(園)で老人福祉施設の訪問・地域の老人との交流事業(餅つき・観劇)・囲碁教室を実施	公立・民間保育所(園)で老人福祉施設の訪問・地域の老人との交流事業(餅つき・観劇)・囲碁教室を実施
学力の充実・向上と個性を生かす教育の推進	○特色ある学校づくり ・社会人講師の活用 ・ボランティア受入れの促進 (再掲2-(1)-①、3-(1)-⑥)	学校教育	H22~26	総合的な学習の時間等で地域の人材を活用した。 講師等謝金 小学校560千円、中学校303千円 同志社大学等の学生ボランティアによる学習支援を実施した。登録者26人	子ども・学校応援プロジェクト「教育実践モデル校」指定事業12校すべてをモデル校に指定し、研究を開始した。 同志社大学等の学生ボランティアによる学習支援を実施。登録者21人。

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

◎ 展開する事業群(3-1-6)

基本目標	3	子どもが安心して暮らし、育つことができる環境づくり
施策目標	(1)	地域における子育て支援の推進
基本施策分野	⑥	大学との連携の推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	25年度実績	26年度実績
学力の充実・向上と個性を生かす教育の推進	○特色ある学校づくり (再掲2-(1)-①)、3-(1)-⑤)	学校教育	H22~26	総合的な学習の時間等で地域の人材を活用した。 講師等謝金 小学校560千円、中学校303千円 同志社大学等の学生ボランティアによる学習支援を実施した。登録者26人	子ども・学校応援プロジェクト「教育実践モデル校」指定事業12校すべてをモデル校に指定し、研究を開始した。 同志社大学等の学生ボランティアによる学習支援を実施。登録者21人。
★5 子どもの遊び場情報誌の作成(★)	○子どもの遊び場情報誌の作成(★) (再掲3-(1)-③)	子育て支援	H22~26	同志社大学のルームプロジェクトにおいての企画で作成したマップデータを4000部印刷。	子育てマップ発行:3000部

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

◎ 展開する事業群(3-2-1)

基本目標	3	子どもが安心して暮らし、育つことができる環境づくり
施策目標	(2)	(2)子どもと子育て家庭にやさしいまちづくり
基本施策分野	①	豊かな自然環境の活用と保全

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	25年度実績	26年度実績
★ 21 京田辺市都市計画マスタープランの改訂及び実施(☆)	○周辺環境・自然環境に配慮した土地利用の推進	都市計画 計画交通	H21～22	平成22年度改訂完了	平成22年度改訂完了
自然体験活動等の促進	○自然体験活動(薪甘南備山生活環境保全林の活用など)	農政	H22～26	薪甘南備山生活環境保全林の維持管理を行った。5月、11月に京セラが薪甘南備山保存会と協働で行うモデルフォレスト運動(治山活動)を支援した。	薪甘南備山生活環境保全林の維持管理を行った。5月、11月に京セラが薪甘南備山保存会と協働で行うモデルフォレスト運動(治山活動)を支援した。
	○野外活動のつどい(再掲2-(1)-⑤)	社会教育・スポーツ推進		野外活動の集い 450人	野外活動の集い 500人
	○子どもの日(野外活動に親しむ日)無料開放(再掲2-(1)-⑤)	社会教育・スポーツ推進		野外活動に親しむ日 150人	野外活動に親しむ日 250人
	○土曜わくわく体験教室(再掲2-(1)-⑤)	社会教育・スポーツ推進		わくわく体験クラブ 延べ1,209人	わくわく体験クラブ 延べ1,047人
	○夕涼みのつどい(再掲2-(1)-⑤)	社会教育・スポーツ推進		夕涼みのつどい 90人	夕涼みのつどい 120人
	○学校田、学級園等での野外活動体験活動	学校教育		未実施	(米作りや栽培活動を実施)
★ 22 京田辺市環境基本計画に基づく総合的な環境施策の推進(☆)	○きょうたなべ環境市民パートナーシップ活動支援(☆)	環境	H22～26	きょうたなべ環境市民パートナーシップ活動支援 ・保全活動及び啓発イベント等への支援(里山整備、エコウォーキング、自転車利用啓発、省エネ相談、環境授業等)	きょうたなべ環境市民パートナーシップ活動支援 ・保全活動及び啓発イベント等への支援(里山整備、エコウォーキング、自転車利用啓発、省エネ相談、環境授業等)
	○美化意識向上のための啓発(市民一斉清掃の推進・美化啓発看板の設置、空き地除草の指導等)	環境		・市民一斉清掃を2回実施(延べ67団体)、参加者 19,881人	・市民一斉清掃を2回実施(延べ70団体)、参加者 20,899人
	○市民環境セミナー	環境		緑のカーテン市民説明会の開催(5月19日) ・講演「温暖化と省エネについて」 環境フェスタの開催(11月17日) ・講演「日本縦断徒歩の旅」	緑のカーテン市民説明会の開催(5月18日) ・講演「温暖化防止について」 環境フェスタの開催(11月16日)
	○地球温暖化防止活動の促進	環境		公共施設におけるKES環境マネジメントシステムの継続認証 「家庭ではじめる省エネガイドブック」の発行	公共施設におけるKES環境マネジメントシステムの継続認証 「子ども省エネ相談所」開催

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

☆
23

水と緑のネットワークの推進	○広幅員道路や河川を利用した緑的緑化と自歩道のネットワーク化	施設整備	H22～26	水辺の散策路ルート案を策定し、次年度整備箇所の選定を行った	○水辺の散策路整備に伴う測量設計 一式 ○水辺の散策路整備工事 工事延長 L=585m ○水辺の散策路整備(ルートc1)完成に伴う披露セレモニー(H27.2.26)
緑化の推進(☆)	○緑の基本計画策定の見直し(☆)	施設管理	H22～26	緑の基本計画策定の見直しについては現計画において事業展開ができていないことから実施は行わず、緑の基本計画に基づき、緑化推進事業を踏襲していく。	緑の基本計画策定の見直しについては現計画において事業展開ができていないことから実施は行わず、緑の基本計画に基づき、緑化推進事業を踏襲していく。
	○誕生記念樹配布	施設管理		H25.11.3(1回目)93名 H25.3.21(2回目)111名	H26.11.3(1回目)116名 H27.3.21(2回目)120名
	○市民記念植樹祭	施設管理		H25.4.19 12組	H26.4.19 12組
循環型社会の構築(☆)	○ごみの分別収集の徹底(ごみ収集カレンダー、広報紙、ホームページ等により告知し、ごみの分別を周知徹底)	清掃衛生	H22～26	ごみカレンダーを拡大するとともに、カレンダー形式に書き換えて、画像も多くし、誰にでもわかりやすいデザインとした。配布は、年2回行った。ホームページにおいても、ごみカレンダーをPDF形式で配布した。	ごみカレンダーを拡大するとともに、カレンダー形式に書き換えて、画像も多くし、誰にでもわかりやすいデザインとした。配布は、年2回行った。ホームページにおいても、ごみカレンダーをPDF形式で配布した。
	○家庭生ごみ自家処理容器等設置費補助(家庭から排出される生ごみを自家処理してもらうことによりごみの減量化を図る。購入金額に対して補助金交付)	清掃衛生		補助件数13件。	補助件数17件。
	○再生資源集団回収事業補助(家庭から排出されるごみの内、再生できるごみをリサイクルしてもらうことにより、ごみの減量化を図る。リサイクル量に応じて補助金交付)	清掃衛生		補助団体81団体。 新聞、雑誌、段ボール、紙パック、布類、ビン、金属の累計2,263t。	補助団体80団体。 新聞、雑誌、段ボール、紙パック、布類、ビン、金属の累計2,250t。
循環型社会の構築(☆)	○教室・講座(ごみの減量化施策、情報等についての講演等)	清掃衛生	H22～26	エコパークかんなびと協働で、もの作り教室を18回開催した。また、市でも市内小学校の施設見学を受け入れ、児童向けに実際にパッカー車を利用した出前講座を行うとともに、市民向けにもMOTTAINAIでごみ減量！というテーマで各地公民館等に出前講座を実施した。	エコパークかんなびと協働で、もの作り教室を18回開催した。また、市でも市内小学校の施設見学を受け入れ、児童向けに実際にパッカー車を利用した出前講座を行うとともに、市民向けにもMOTTAINAIでごみ減量！というテーマで各地公民館等に出前講座を実施した。
	○市民団体「京田辺エコパークかんなび」の支援(☆) 京田辺エコパークかんなびを支援することにより、「3R」推進に取り組む。 ① リデュース(Reduce)ごみ減量 ② リユース(Reuse)不要品の再利用 ③ リサイクル(Recycle)ごみ再利用	清掃衛生		京田辺エコパークかんなびの活動(3R推進活動に関する各種研修や学習教室、イベント企画、リユースフェア、勉強会、見学会など)の支援を行った。 新田辺東商店街の空き店舗を利用したエコパークかんなびキララ店と協働して、キララフェスティバルなどにも参加し、ぬいぐるみや食器などのリユース普及活動も行った。	京田辺エコパークかんなびの活動支援として、専任の職員を3名雇用し、高齢化が進むエコパークで対応できないリユース品の引取りサービスや、キララ店の運営支援、及び各種研修や学習教室、イベント企画、リユースフェア等の支援を行った。キララフェスティバルや、京都府環境フェスティバルへの参加など、イベント参加も積極的に実施している他、職員とボランティアの垣根を越えた協働を実施している。
京田辺市の文化を次世代に受け継ぐ事業の推進	○文化財の保護及び市民への情報提供等	社会教育・スポーツ推進	H22～26	未実施	大住隼人舞など市指定文化財への補助や国・府指定等文化財の保全のための事業に補助金を交付した

☆
24

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

◎ 展開する事業群(3-2-2)

基本目標	3	子どもが安心して暮らし、育つことができる環境づくり
施策目標	(2)	子どもと子育て家庭にやさしいまちづくり
基本施策分野	②	子どもの遊び場・交流の場の充実

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	25年度実績	26年度実績
身近な遊び場の整備	○ストリートバスケット設置等	社会教育・スポーツ推進	H22～26	平成25年度は、地元区・自治会の設置要望がなかったため、未設置	平成26年度は、地元区・自治会の設置要望がなかったため、未設置
体育館・運動施設の開放	○スポーツに親しむ日	社会教育・スポーツ推進	H22～26	スポーツに親しむ日 11回27.5時間 延べ1,057人	スポーツに親しむ日 11回 延べ1,171人
★ 25 公園の新設、整備等(☆)	○近隣公園の整備	施設整備	H22～26	防賀川公園(東側)の整備 … H26へ繰越	○防賀川公園東側整備における過年度用地国債分の買戻し ○防賀川公園整備 敷地造成 A=0.59ha
	○街区公園の整備	施設整備		三山木地区特定土地区画整理4号公園の整備 N=1箇所	○三山木地区特定土地区画整理2号公園 詳細設計 1式
	○公園里親制度(アダプト制度)の普及(☆)	施設管理		すてきなまちなみ支援事業実施(花の一休寺道・田辺東幼稚園前緑地・市道南田辺狛田中央線(同志社山手中央バス停付近)・田辺公園展望台散策路付近)	
	○公園遊具の安全点検の推進	施設管理		公園施設長寿命化計画策定業務内で健全度調査を実施	公園施設長寿命化計画に伴い13公園21施設を更新・撤去
まちづくり事業での配慮(三山木地区特定土地区画整理事業関係)	○良好な市街地の形成(公共施設(道路、公園、水路等)の整備改善、宅地の利用増進) (再掲3-(2)-③、3-(2)-④)	三山木整備	H22～26	<ul style="list-style-type: none"> ・早期の土地利用を促進するため、都市計画道路等の築造工事を施工した。 ・家屋移転対象戸数157戸のうち、155戸が完了した。 ・家屋移転進捗率 98.7 % ・仮換地指定率 98.3 % ・仮換地使用収益開始率 87.5 % 	<ul style="list-style-type: none"> ・早期の土地利用を促進するため、都市計画道路等の築造工事を施工した。 ・家屋移転対象戸数157戸のうち、156戸が完了した。 ・家屋移転進捗率 99.3 % ・仮換地指定率 99.1 % ・仮換地使用収益開始率 92.4 %

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

あんしん歩行エリア整備事業計画	○交通事故多発エリア(田辺地区)における事故抑制の実施計画の進捗確認	都市計画 計画交通	H22~26	各機関の進捗確認を行った。	各機関の進捗確認を行った。
道路整備	○幹線道路の整備	施設整備	H22~26	該当なし	該当なし
	○準幹線道路の整備	施設整備		歩行者等の安心安全を確保するため、準幹線道路の整備を行う。 ・新田辺東2条線工事 L=270m ・草内薪線舗装工事 A=1380㎡	歩行者等の安心安全を確保するため、準幹線道路の整備を行った。 ・東興戸線 防火水槽設置 N=1基 ・河原浜新田線 工事延長 L=113m ・山手幹線接続道路 用地買収 A=1713.30㎡
子ども緊急避難場所等の指定	○子ども緊急避難場所等の指定(商店等を活用した子ども緊急避難場所等の指定)	安心まちづくり室	H22~26	なし	なし
地域での防犯対策の充実	○防犯灯の設置等	安心まちづくり室	H22~26	13基の街路灯を設置	25基の街路灯を設置
	○地域防犯体制の育成(地域の防犯活動の芽を育成し、交流とネットワーク化の構築)	安心まちづくり室		引き続き検討を行った	京都府田辺地域総務室、田辺署と連携し、綴喜防犯推進委員とともに街頭啓発を3回実施した。
交通安全対策の充実	○交通安全施設の設置及び管理	計画交通	H22~26	9カ所に道路反射鏡を設置した。	9カ所に道路反射鏡を設置した。
	○交通安全意識の啓発	計画交通		京都府田辺警察書と合同で約15回啓発を実施した。	京都府田辺警察書と合同で約15回啓発を実施した。
放置自転車対策の充実	○自転車マナーの向上の啓発	計画交通	H22~26	セーフティーキッズスクールとして市内の児童を対象とした自転車教室を開催した。	・京田辺市立田辺中学校における交通安全スタント事業として、自転車の安全な乗り方や、交通法規について指導した。 ・自転車マナーアップ啓発として、新田辺駅東自転車駐車場で反射材貼付け等の啓発を行った。
防災対策の推進	○災害時の要援護者対策の推進(市防災計画において、災害の影響を受けやすい乳幼児・妊産婦等への支援・救助体制を整備)	安心まちづくり室	H22~26	市内5地区をモデル地区として、災害時要配慮者等の登録を進めている。	市内5地区をモデル地区として、災害時要配慮者等の登録を進めている。
	○自主防災組織の育成	消防本部 安心まちづくり室	H22~26	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消火訓練 10件 788人 ・ 防火・防災講話 3件 175人 ・ 地震体験 3件 155人 ・ 避難訓練 2件 263人 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消火訓練 29件 1,907人 ・ 防火・防災講話 3件 177人 ・ 地震体験 4件 184人 ・ 避難訓練 11件 1,063人
	○消防団員育成・強化事業	消防本部		<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種訓練 318回 2,237人 ・ 消防学校入校 1回 3人 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種訓練 56回 2,163人 ・ 消防学校入校 2回 3人
☆1 安心・安全教育の推進(☆)	○子どもの事故防止、救急対応等の教育及び情報誌の作成(☆)(再掲1-(1)-①、1-(2)-②)	子育て支援	H22~26	10か月発達相談時、事故予防パンフレットを配布。569人 1歳6か月健診時、パンフレットを配布。619人	10か月発達相談時、事故予防パンフレットを配布。546人 1歳6か月健診時、パンフレットを配布。604人
有害環境対策の推進	○地域環境浄化活動の推進 ・京都府社会環境浄化推進員 ・綴喜地区環境浄化連絡協議会	子育て支援	H22~26	年4回の京都府社会環境浄化推進員による見回り	年4回の京都府社会環境浄化推進員による見回り

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

◎ 展開する事業群(3-2-4)

基本目標	3	子どもが安心して暮らし、育つことができる環境づくり
施策目標	(2)	子どもと子育て家庭にやさしいまちづくり
基本施策分野	④	子育てバリアフリーの推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	25年度実績	26年度実績
京田辺市バリアフリー基本構想策定及び実施	○バリアフリー基本構想の策定	都市計画 計画交通	H21～22	平成23年度策定完了	平成23年度策定完了
	○鉄道駅、道路、公園、駐車場等、公共施設のバリアフリー化 (既存都市施設や公共施設のバリアフリー化を計画)	計画交通	H22～26	田辺地区において、基本構想に基づくバリアフリー事業を市や関係事業者で進めている。JRに対し、片町線複線化促進期成同盟会を通じて、大住駅にエレベーター設置を要望した。	田辺地区において、基本構想に基づくバリアフリー事業を市や関係事業者で進めている。新田辺駅の内方線も含めた転落防止設備の整備等を行った。
福祉のまちづくりの推進	○道路整備 (市道補修の際は、子どもやベビーカーに配慮し、必要な箇所に段差の解消、細目グレーチングの使用、危険箇所の転落防止策の設置)	施設整備	H22～26	歩行者等に配慮した道路整備事業を行う。 ・山手幹線自転車道整備 L=115m ・市内道路歩道切下 N=18箇所 ・信楽街道踏切改良 1式	歩行者等に配慮した道路整備事業を行った。 ・関屋長尾線 詳細設計 1式 ・新田辺東駅前線1線 工事延長 L=234m ・新田辺駅前線 横断歩道設置 1式
		施設管理		—	歩行者に配慮した道路改良事業を行う。 ・東室垣外線 防護柵設置 L=103m ・大切八田線 防護柵設置 L=37m
まちづくり事業での配慮 (三山木地区特定土地区画整理事業関係)	○良好な市街地の形成(公共施設(道路、公園、水路等)の整備改善、宅地の利用増進) (再掲3-(2)-②、3-(2)-③)	三山木整備	H22～26	・早期の土地利用を促進するため、都市計画道路等の築造工事を施工した。 ・家屋移転対象戸数157戸のうち、155戸が完了した。 ・家屋移転進捗率 98.7 % ・仮換地指定率 98.3 % ・仮換地使用収益開始率 87.5 %	・早期の土地利用を促進するため、都市計画道路等の築造工事を施工した。 ・家屋移転対象戸数157戸のうち、156戸が完了した。 ・家屋移転進捗率 99.3 % ・仮換地指定率 99.1 % ・仮換地使用収益開始率 92.4 %